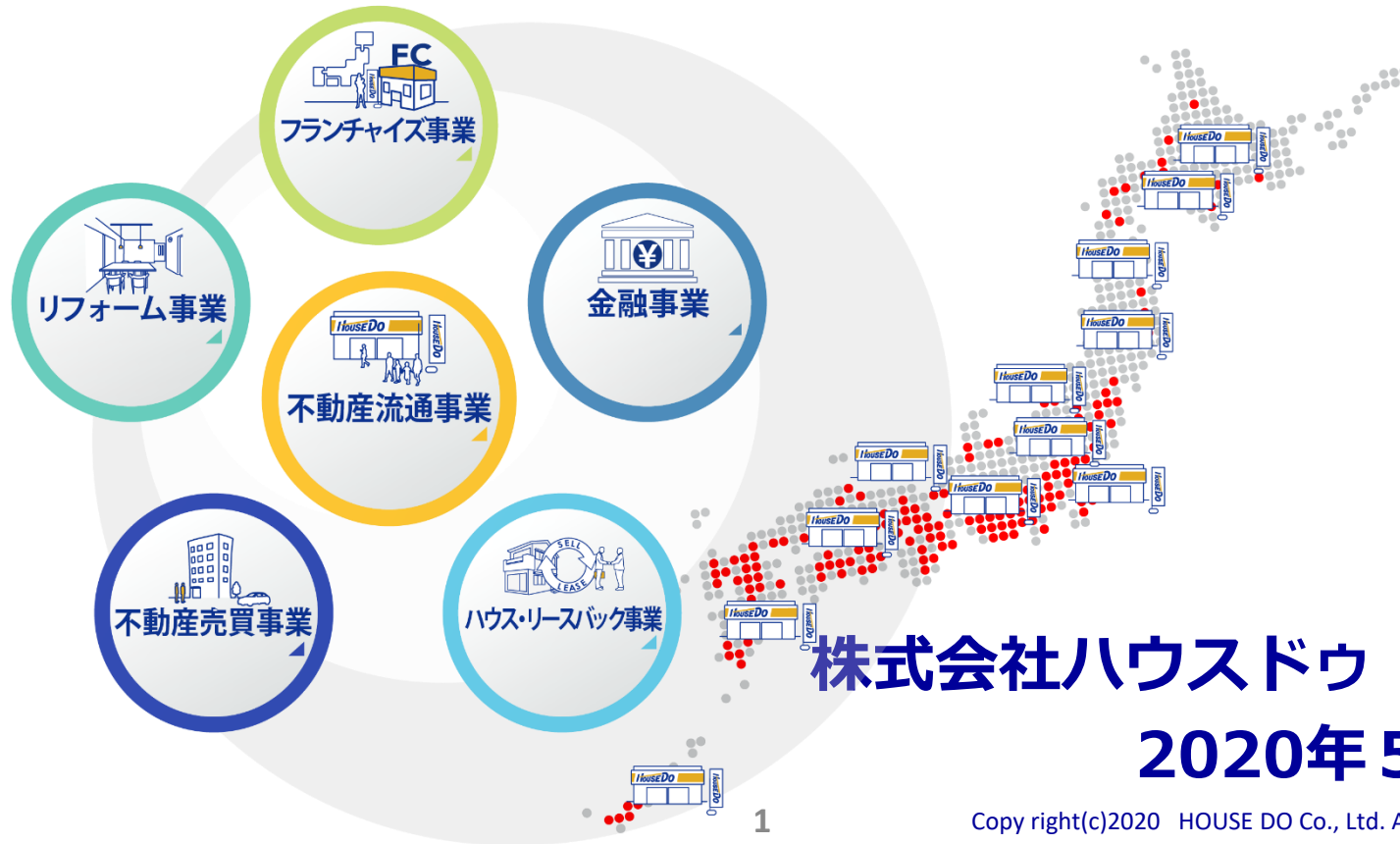




2020年6月期 第3四半期 決算説明資料



株式会社ハウズドゥ 【3457】

2020年5月12日

1

会社概要

2

2020年6月期 第3四半期 連結決算概要

3

2020年6月期 第3四半期 セグメント別決算概要

4

2020年6月期 年度計画及び中期計画

会社概要



会社名

株式会社ハウストウ

代表取締役社長

安藤 正弘

設立

2009年1月 (創業 1991年)

資本金

33億4,724万円

証券コード

3457

上場取引所

東京証券取引所市場第一部

売上

315.4億円 (2019年6月期・グループ連結)

従業員数

621名 (2019年6月現在) ※グループ合計

本社

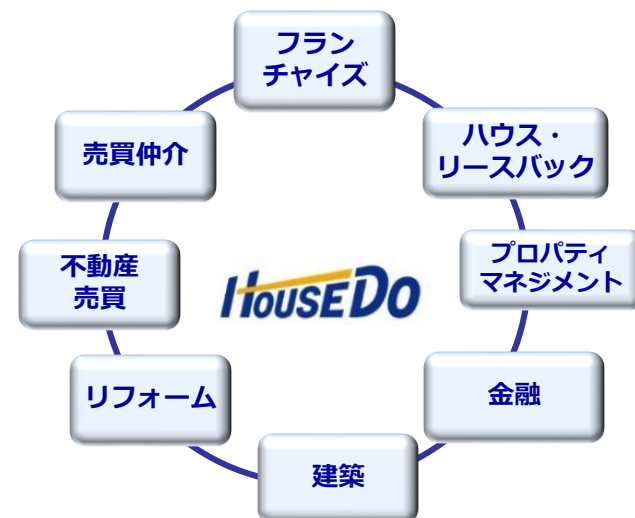
東京都千代田区丸の内1丁目8-1
丸の内トラストタワーN館17F

本店

京都市中京区烏丸通錦小路上ル
手洗水町670番地

事業内容

フランチャイズ事業、ハウス・リースバック事業、金融事業、
不動産売買事業、不動産流通事業、リフォーム事業



【企業理念】

お客様の豊かさ、社員の豊かさ、社会の豊かさを常に創造し、
末永い繁栄と更なる幸福を追求します。

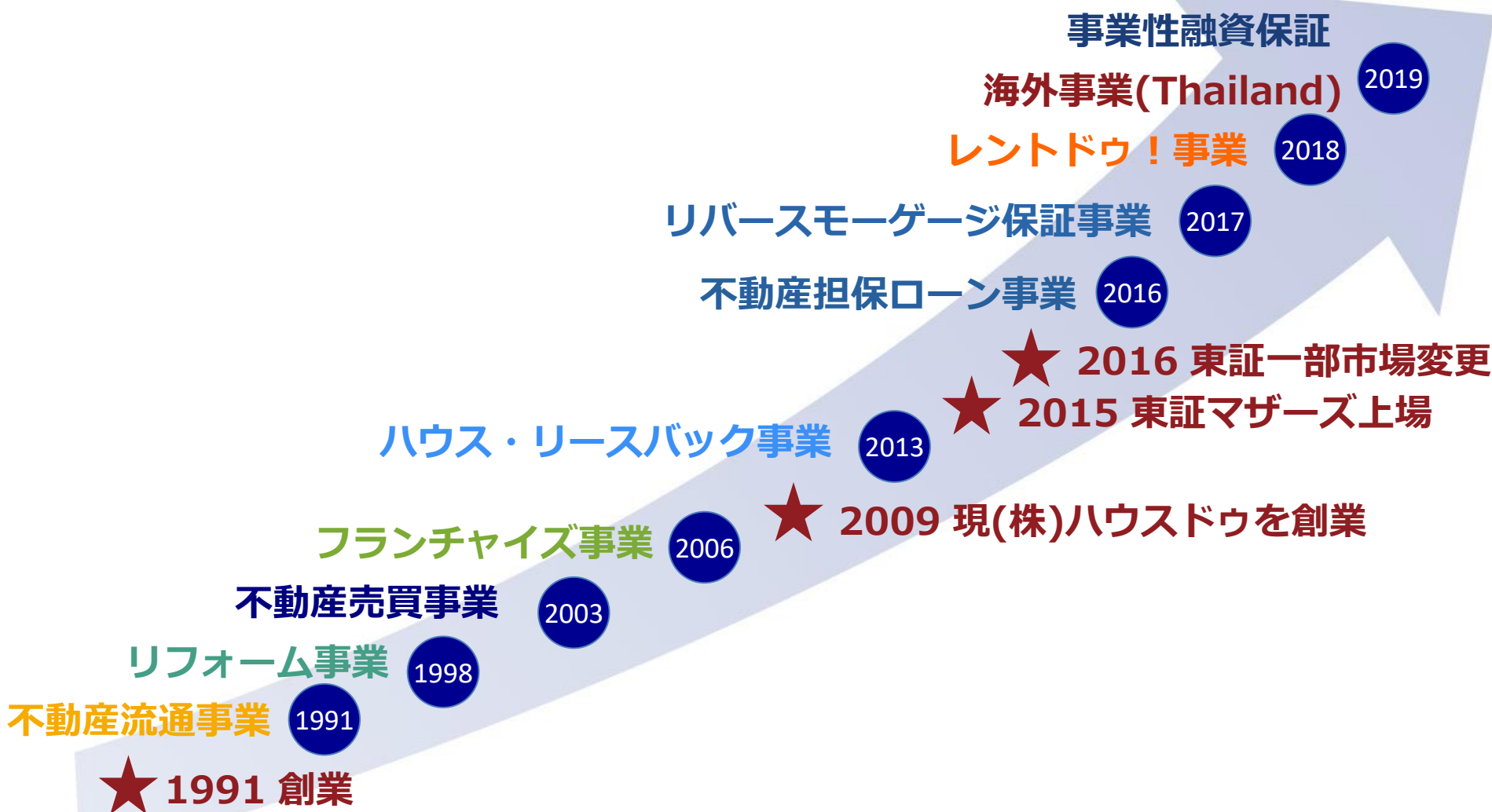
【経営理念】

お客様から必要とされ、お客様へ尽くします。

【ブランド理念】

私たちは日本の住宅市場をオープンにし、
お客様のライフステージに即した理想の住宅を
積極的に住み替えたりできる「住まいの新しい流通システム」
を築きます。

会社沿革・事業展開



基盤サービス構築

三位一体構築
仲介・リフォーム・買取

ワンストップサービス拡大

ストック事業拡大

地域密着の

1 販売力 >

2 査定力 >

3 信用力 >

4 全国対応 >



『顧客接点』・『地域密着』のネットワークを構築

**すべてのエリアにハウズドゥ！
お客様のより近くに、安心・便利な窓口を創り出す。**

不動産情報公開

国内1,000店舗の
FCチェーンネットワーク
(2025年目標)

不動産ソリューション (高齢化社会に対応)

ハウス・リースバック
不動産担保ローン
リバースモーゲージ保証

住まいのワンストップサービス

売買仲介を起点に住まいの関連サービスへ繋げる

フランチャイズ事業（アジアのFCチェーンネットワーク）

不動産流通事業

事業シナジーを強化

リフォーム

不動産売買

ハウス・リースバック

金融事業

- ・担保ローン
- ・リバースモーゲージ保証
- ・事業性融資保証

賃貸管理・仲介
(レントドウ！)

海外事業

1

会社概要

2

2020年6月期 第3四半期 **連結決算概要**

3

2020年6月期 第3四半期 セグメント別決算概要

4

2020年6月期 年度計画及び中期計画

2020年6月期 第3四半期 (7月~3月) 事業進捗

- 売上高 229.5億円 (前年同期比 : +6.4%)
 営業利益 11.4億円 (" : ▲40.4%)
 経常利益 10.5億円 (" : ▲41.2%)
- フランチャイズ事業 : 累計加盟契約 **642店舗** ・ 開店 **543店舗**
- ハウス・リースバック事業 : 保有件数 **330件** ・ 保有総額**51.6億円**
 仕入契約件数 **509件** (前期比24.1%増)
- 金融事業 : 不動産担保ローン残高 **110.0億円**
 リバースモーゲージ保証残高 **33.4億円**

トピックス

■ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響

第3四半期後半より、外出自粛要請、住宅設備・建材の納期遅延などにより、リフォーム事業をはじめ影響を受ける

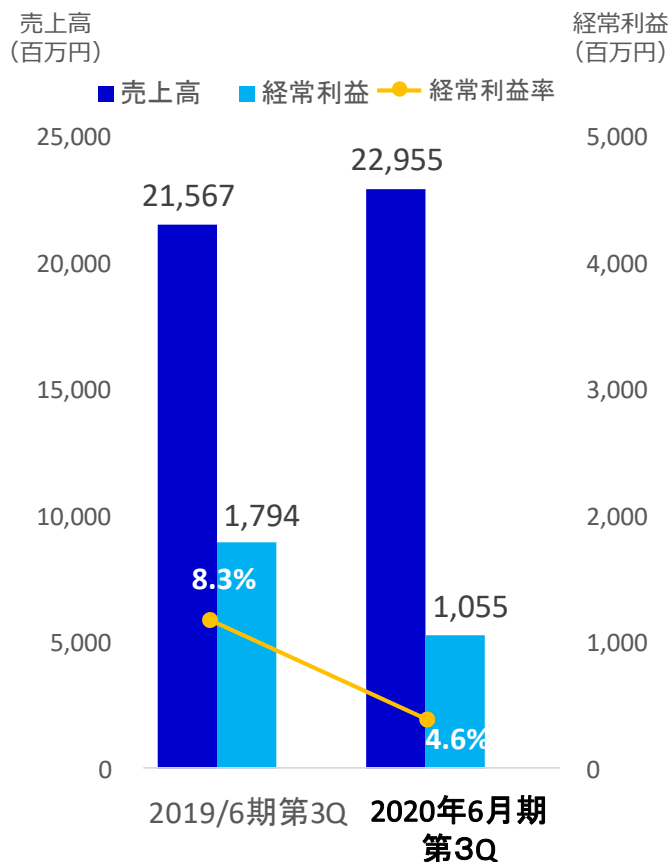
配 当

- 持続的な業容拡大と収益性向上による企業価値の向上
- 配当性向30%以上を基本水準

2020年6月期 第3四半期 連結損益計算書概要



単位（百万円）

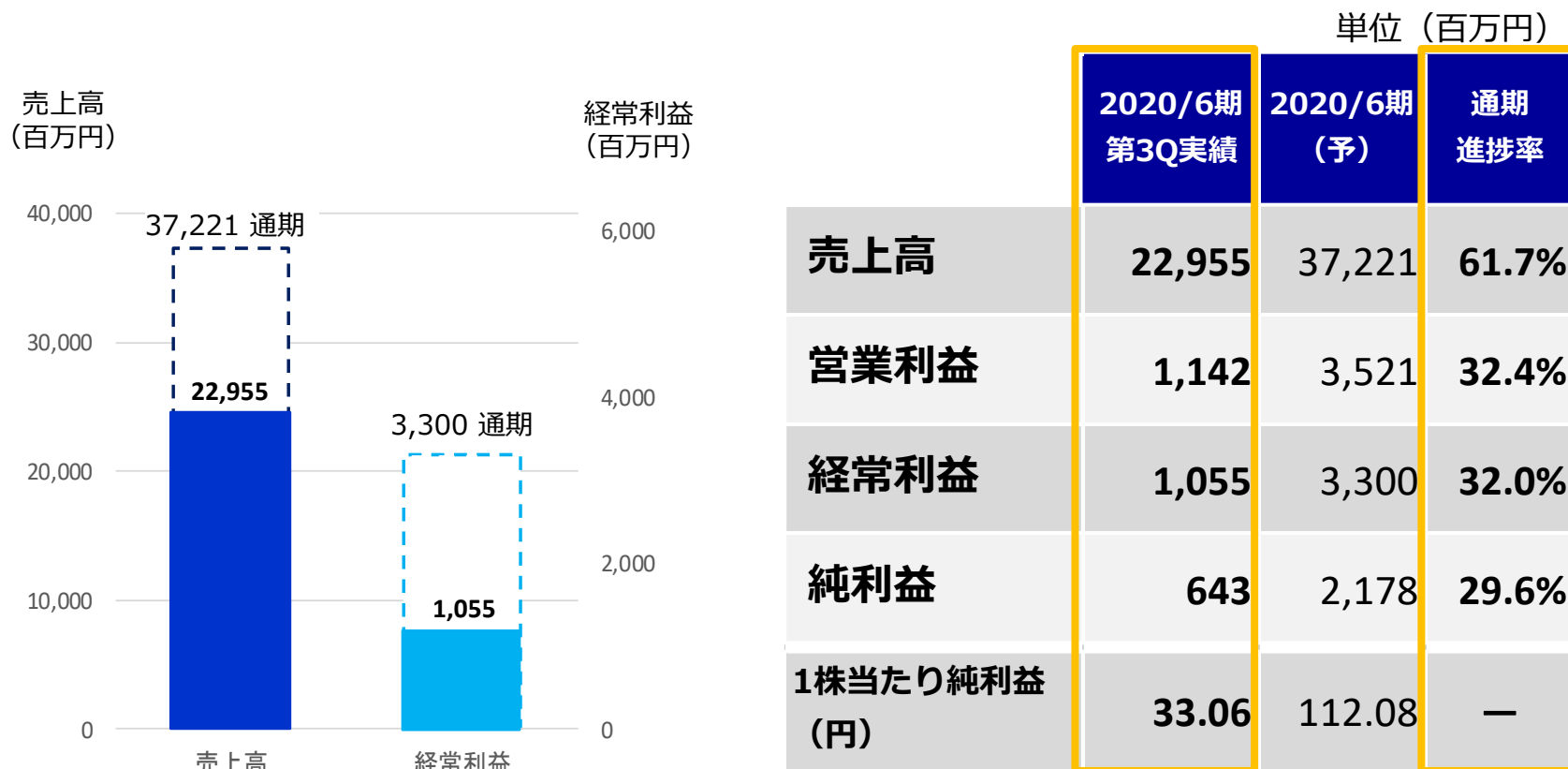


(前年同期比較)

	2019/6期第3Q		2020/6期第3Q		対前年同期増減率
	売上対比		売上対比		
売上高	21,567	100.0%	22,955	100.0%	+ 6.4%
売上総利益	7,710	35.8%	8,377	36.5%	+ 8.6%
販売費及び一般管理費	5,795	26.9%	7,235	31.5%	+ 24.9%
営業利益	1,915	8.9%	1,142	5.0%	▲ 40.4%
営業外収益	65	0.3%	163	0.7%	+ 149.3%
営業外費用	186	0.9%	249	1.1%	+ 33.8%
経常利益	1,794	8.3%	1,055	4.6%	▲ 41.2%
純利益	1,251	5.8%	643	2.8%	▲ 48.6%

■ 売上総利益：前年同期比 8.6%増
 販管費：前年同期比 24.9%増 成長強化事業への人財・広告宣伝費投資
 その他、小山建設グループのM&A関連費用等により販管費増加

2020年6月期 第3四半期 今期目標に対する進捗率



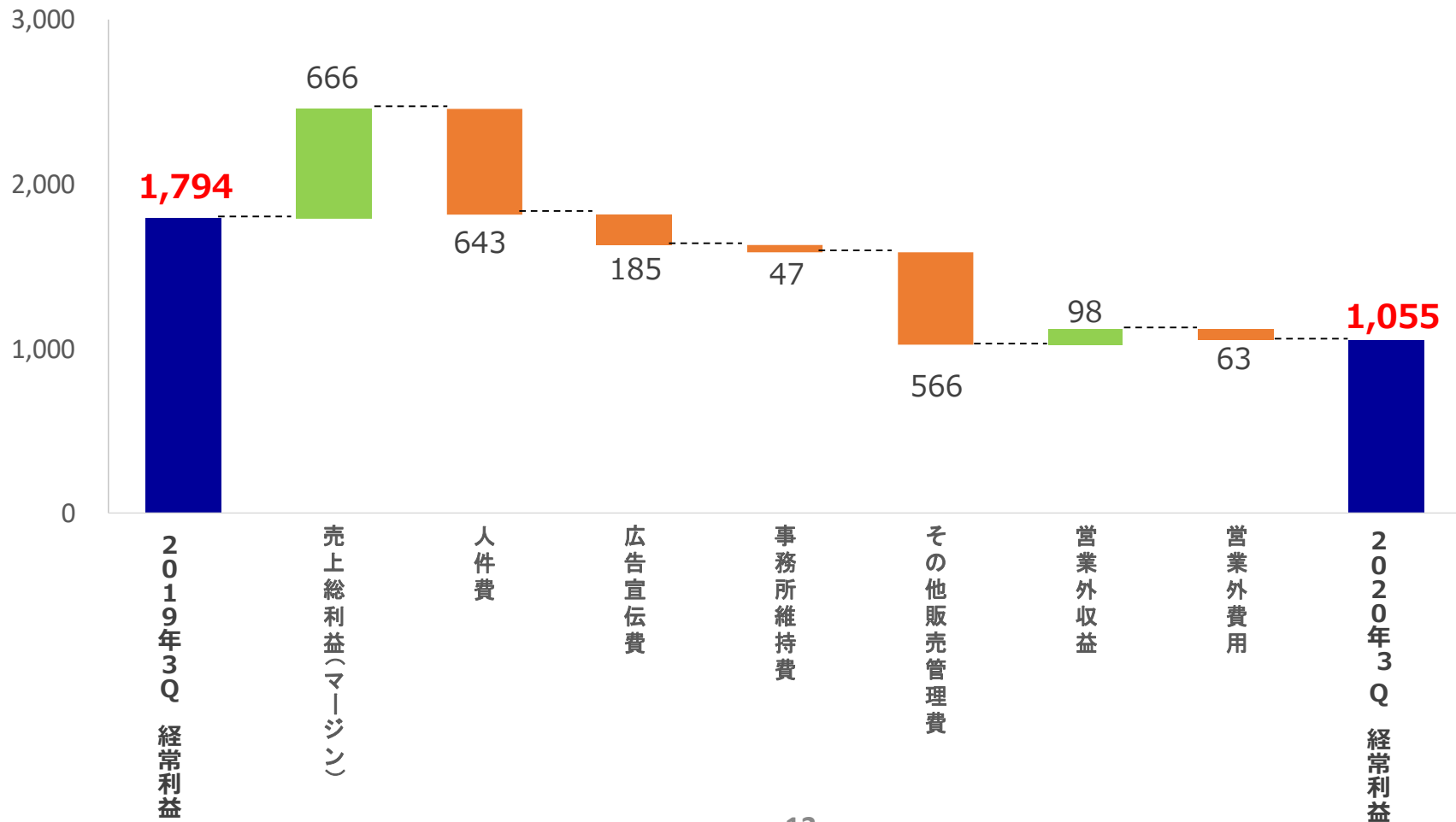
- 売上高 229.5億円 ➡ 通期計画進捗率61.7%
- 経常利益 10.5億円 ➡ 通期計画進捗率32.0%
- 消費税増税及び第3四半期後半からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響
➡ 今後の影響を軽減すべく、各種取組を検討・実施を図る

経常利益増減要因内訳



- 売上総利益（マージン）は前期比8.6%増
- 成長強化事業（フランチャイズ、ハウス・リースバック、金融）に注力 継続した投資により、人件費、広告宣伝費等が増加
- その他販管費は、M&A関連費用や支払手数料、管理費等が増加

(百万円)



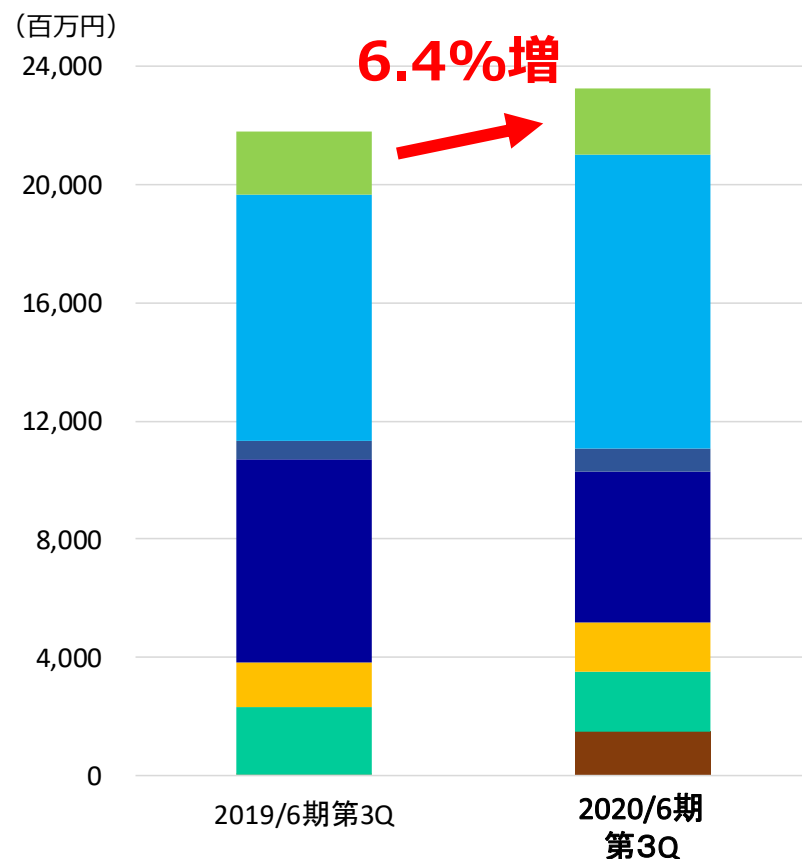
2020年6月期 第3四半期 セグメント売上高（事業別）



セグメント別売上高

(前年同期比較)	単位（百万円）		
	2019/6期 第3Q	2020/6期 第3Q	前年同期 増減率
フランチャイズ事業	2,098	2,205	+ 5.1%
ハウス・リースバック事業	8,354	9,996	+ 19.7%
金融事業	612	790	+ 29.1%
不動産売買事業	6,908	5,095	▲ 26.2%
不動産流通事業	1,504	1,649	+ 9.6%
リフォーム事業	2,282	2,037	▲ 10.7%
小山建設グループ	-	1,469	-
その他	22	10	▲ 51.6%
調整額	▲ 216	▲ 300	-
合計	21,567	22,955	+ 6.4%

セグメント別売上高推移グラフ



- フランチャイズ事業：加盟店舗数の増加に伴い、売上高も伸長
- ハウス・リースバック事業：反響数及び契約数は引き続き伸長
- 金融事業：不動産担保ローン融資残高、リバースモーゲージ保証残高を着実に積み上げ
- 不動産流通事業を除く労働集約型事業は、消費税増税後の落ち込みと新型コロナウイルス感染症拡大の影響による住宅設備納期遅延等が影響

2020年6月期 第3四半期 セグメント利益（事業別）

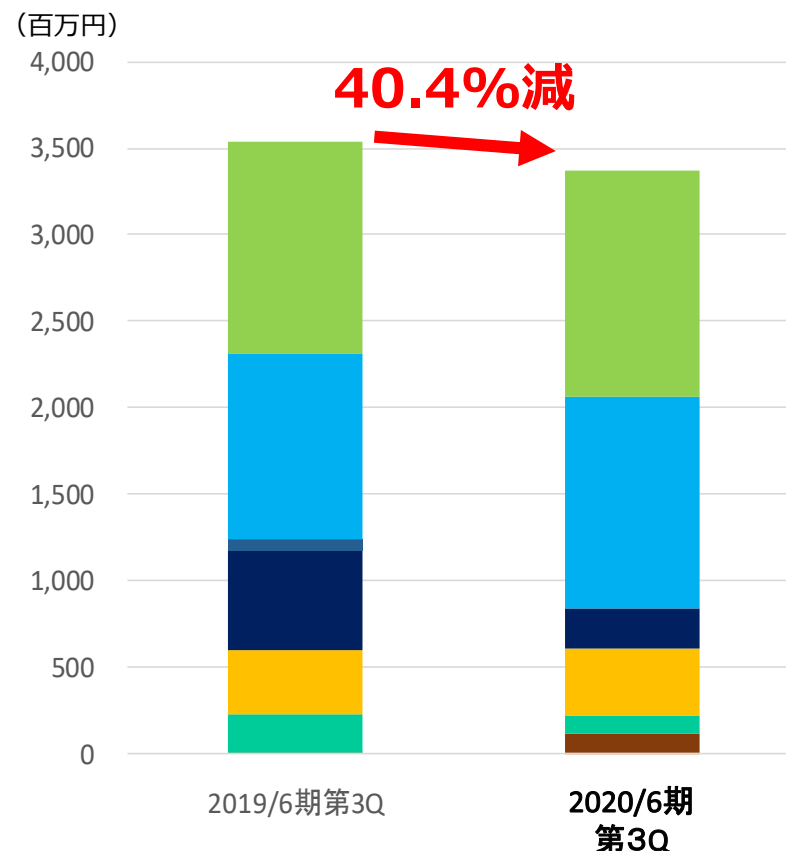


セグメント別利益

単位（百万円）

(前年同期比較)	2019/6期 第3Q	2020/6期 第3Q	前年同期 増減率
フランチャイズ事業	1,222	1,302	+ 6.5%
ハウス・リースバック事業	1,077	1,230	+ 14.3%
金融事業	61	0	▲ 99.8%
不動産売買事業	579	227	▲ 60.7%
不動産流通事業	366	389	+ 6.3%
リフォーム事業	224	102	▲ 54.6%
小山建設グループ	—	116	—
その他	5	▲ 14	—
調整額	▲ 1,620	▲ 2,212	—
合計	1,915	1,142	▲ 40.4%

セグメント別利益推移グラフ

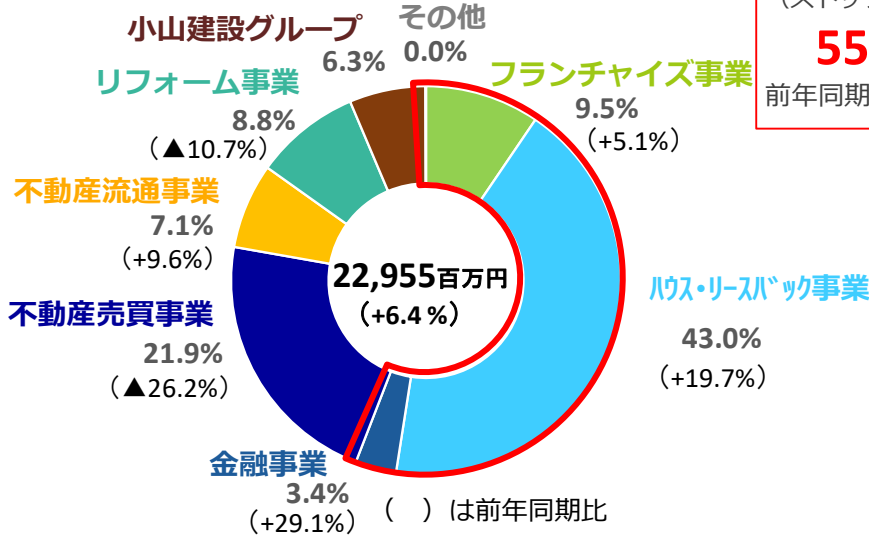


- フランチャイズ事業：新規加盟獲得とオープン店舗数は順調に推移
- ハウス・リースバック事業：積極的な広告宣伝投資により反響増、人財投資も継続
- 金融事業：売上高の増加に伴い、第3四半期はプラス転化

2020年6月期 第3四半期 セグメント売上高・利益構成比



2020年6期 第3Q売上高

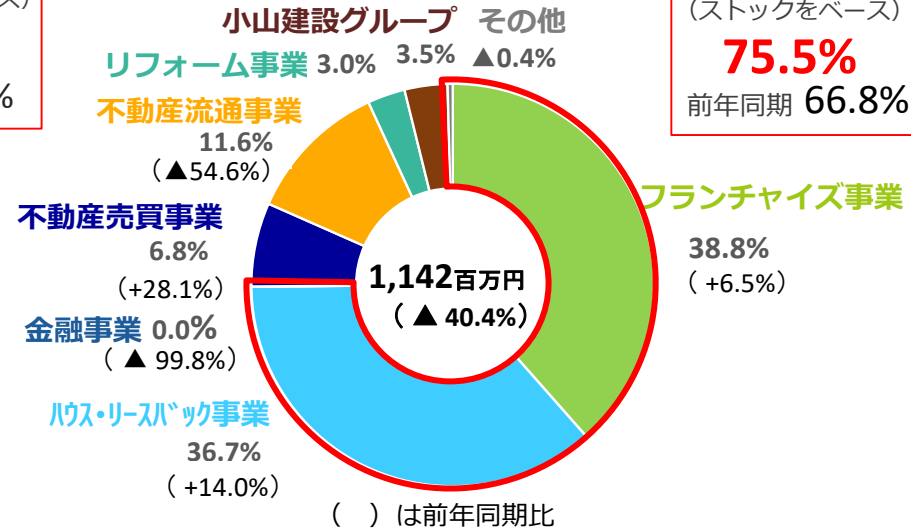


成長強化事業
(ストックをベース)

55.9%

前年同期 50.8%

2020年6期 第3Q営業利益



成長強化事業
(ストックをベース)

75.5%

前年同期 66.8%

単位 (百万円)	2019/6期 第3Q	2020/6期 第3Q	前年同期 増減率
フランチャイズ事業	2,098	2,205	+ 5.1%
ハウス・リースバック事業	8,354	9,996	+ 19.7%
金融事業	612	790	+ 29.1%
不動産売買事業	6,908	5,095	▲ 26.2%
不動産流通事業	1,504	1,649	+ 9.6%
リフォーム事業	2,282	2,037	▲ 10.7%
小山建設グループ	-	1,469	-
その他	22	10	▲ 51.6%
調整額	▲ 216	▲ 300	-
合計	21,567	22,955	+ 6.4%

単位 (百万円)	2019/6期 第3Q	2020/6期 第3Q	前年同期 増減率
フランチャイズ事業	1,222	1,302	+ 6.5%
ハウス・リースバック事業	1,077	1,230	+ 14.3%
金融事業	61	0	▲ 99.8%
不動産売買事業	579	227	▲ 60.7%
不動産流通事業	366	389	+ 6.3%
リフォーム事業	224	102	▲ 54.6%
小山建設グループ	-	116	-
その他	5	▲ 14	-
調整額	▲ 1,620	▲ 2,212	-
合計	1,915	1,142	▲ 40.4%

1

会社概要

2

2020年6月期 第3四半期 連結決算概要

3

2020年6月期 第3四半期 **セグメント別決算概要**

4

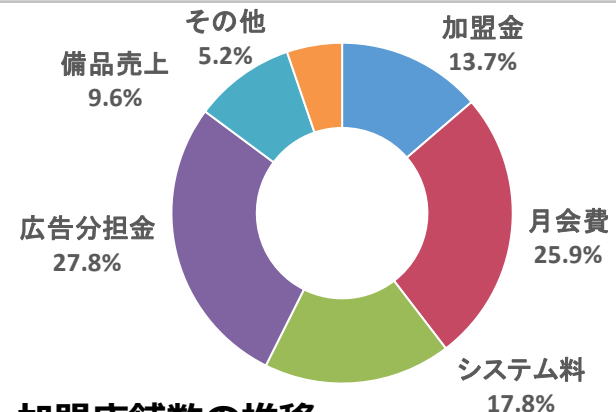
2020年6月期 年度計画及び中期計画



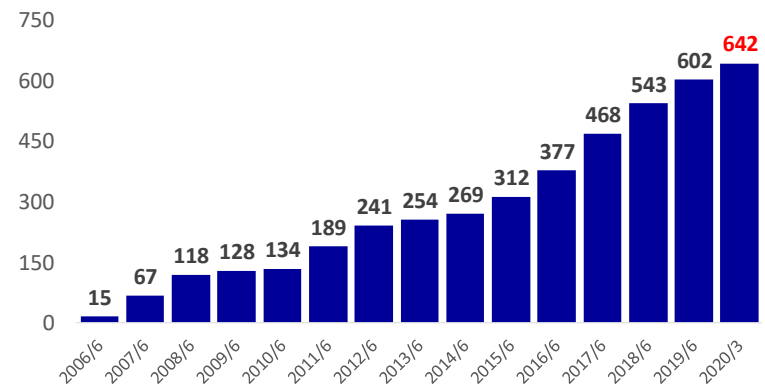
売上高・営業利益推移

	2019/6期 第3Q	2020/6期 第3Q	2020/6期 (予)	通期 進捗率
売上高 (百万円)	2,098	2,205	3,148	70.1%
営業利益 (百万円)	1,222	1,302	1,846	70.6%
営業利益率 (%)	58.3%	59.1%	58.6%	—
累計加盟店舗数	578	642	699	—
累計開店店舗数	481	543	632	—

フランチャイズ事業売上構成



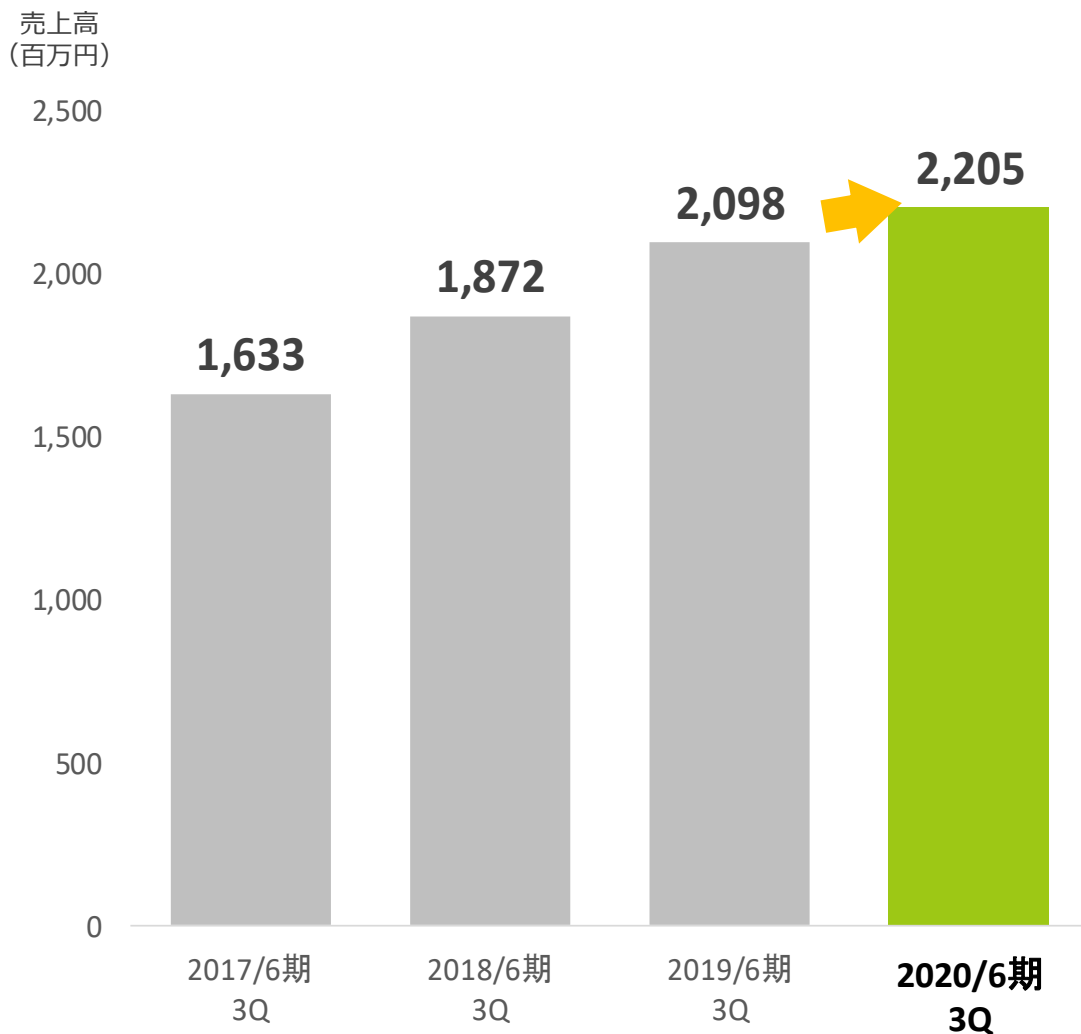
加盟店舗数の推移



- 新規加盟店舗数 100件 新規開店店舗数 99店舗 **累計加盟店舗数 642店舗**
- **店舗数増加に伴い、収益拡大** オンラインセミナーやWEB面談などを活用し、新規開拓と並行して加盟店向けサービスの充実にも注力



売上高推移



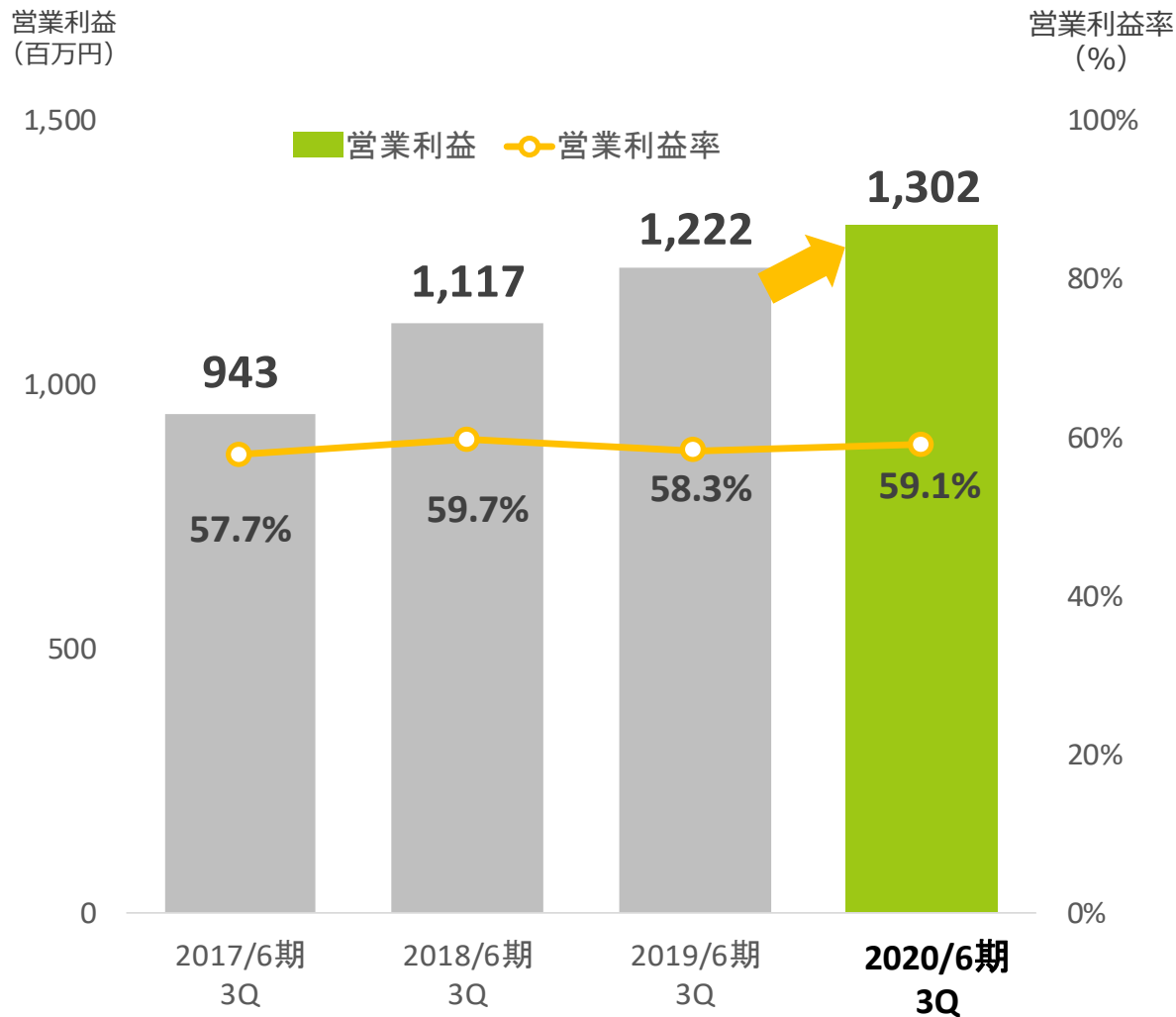
**売上高
5.1%増**



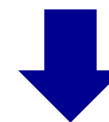
**進捗率
70.1%**



営業利益推移



**営業利益
6.5%増**



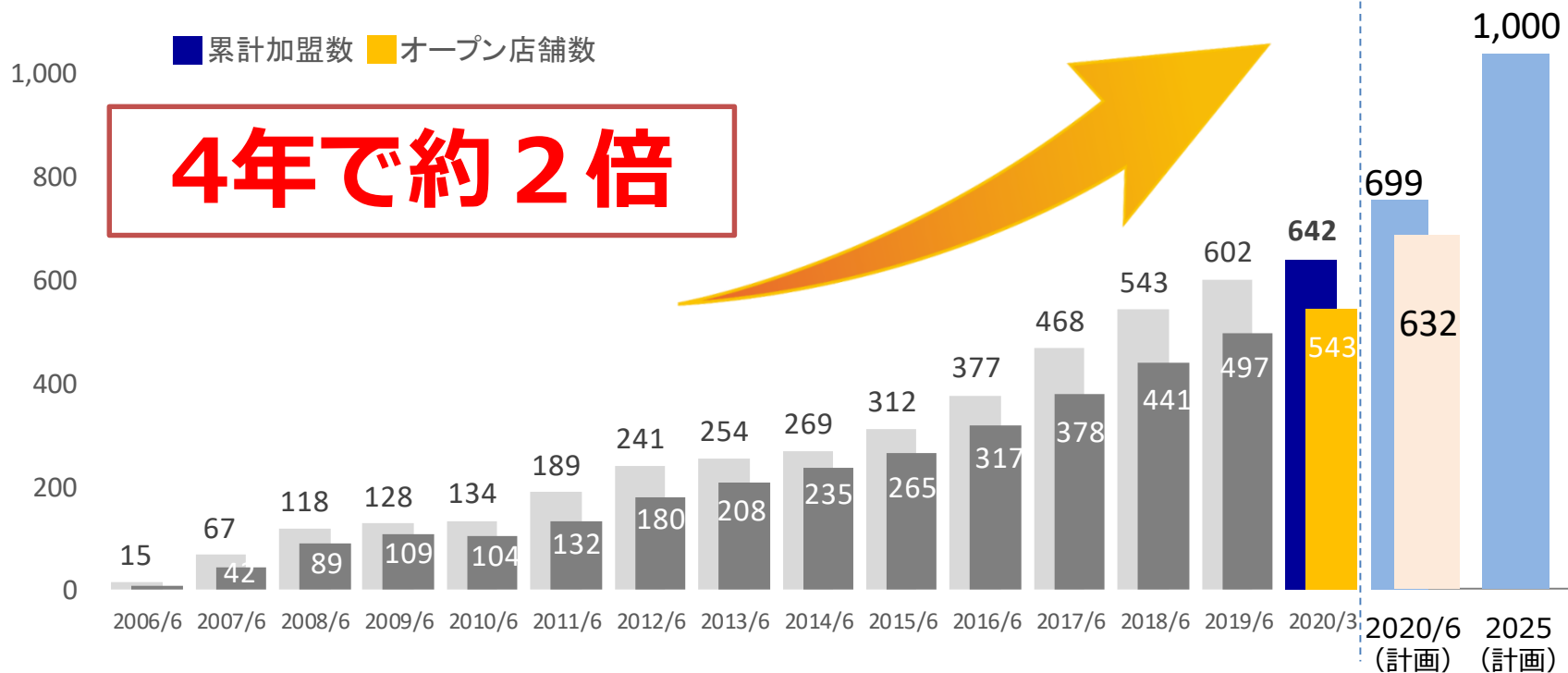
**進捗率
70.6%**



フランチャイズ店舗数推移





2020年3月31日現在 **642店舗** ※内準備中 99店舗
(レントドウ!含む)

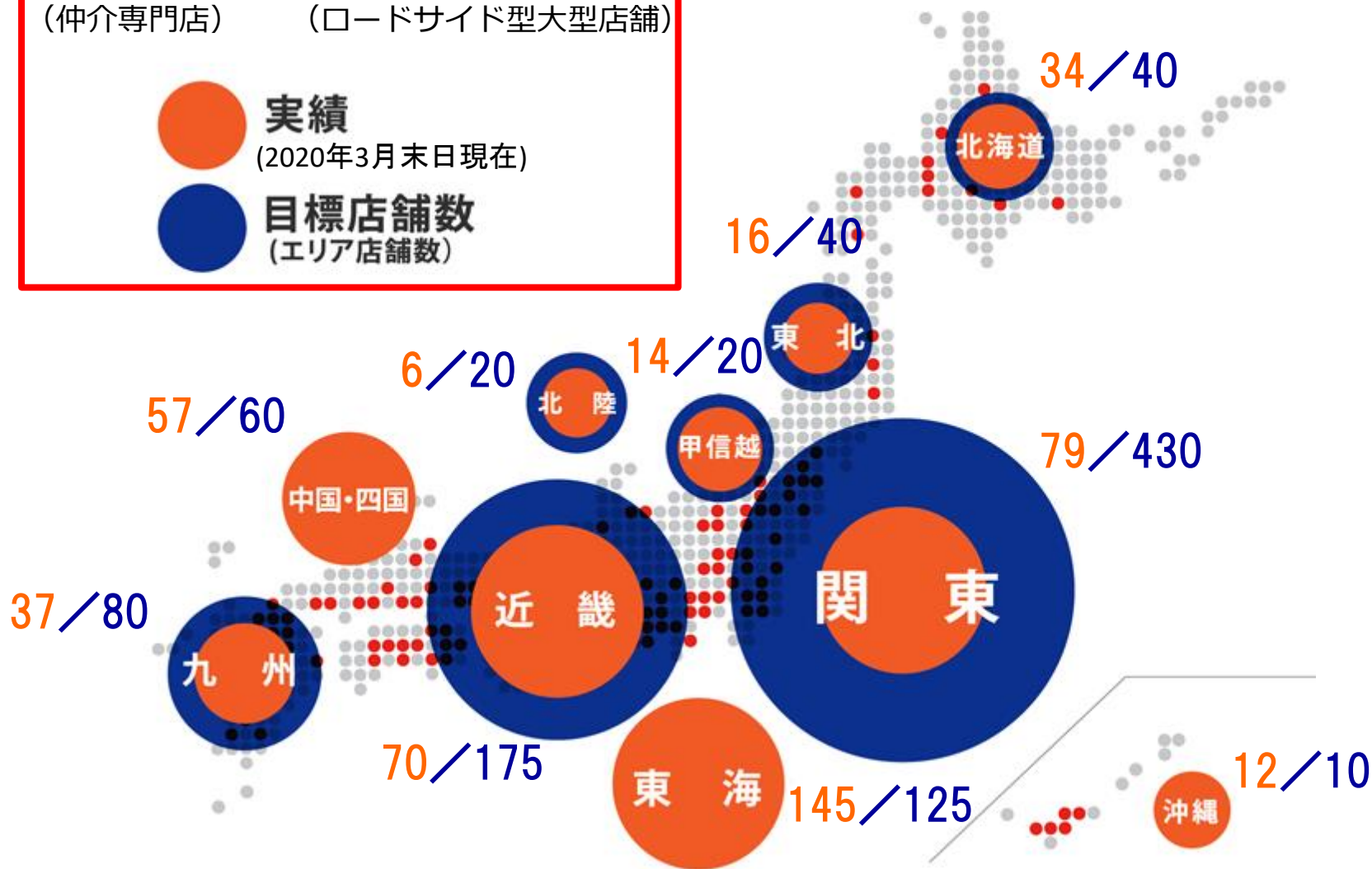


	サテライト店	買取専門店	住宅情報モール	レントドウ!	合計
FC加盟店	454	117	2	46	619
直営店	10	7	4	2	23
合計	464	124	6	48	642

F C店舗ネットワーク

サテライト + 住宅情報モール
(仲介専門店) (ロードサイド型大型店舗)

-  **実績**
(2020年3月末日現在)
-  **目標店舗数**
(エリア店舗数)

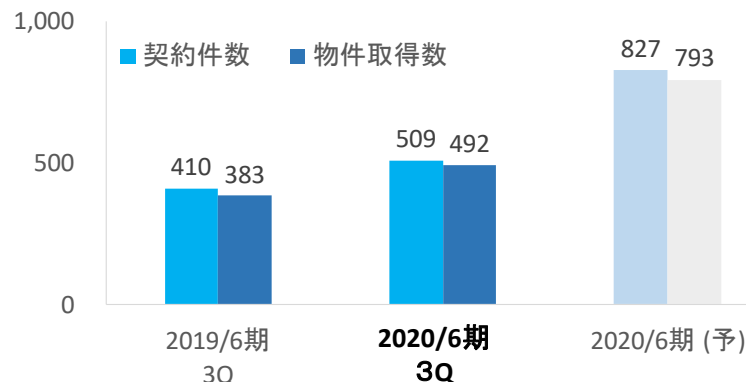




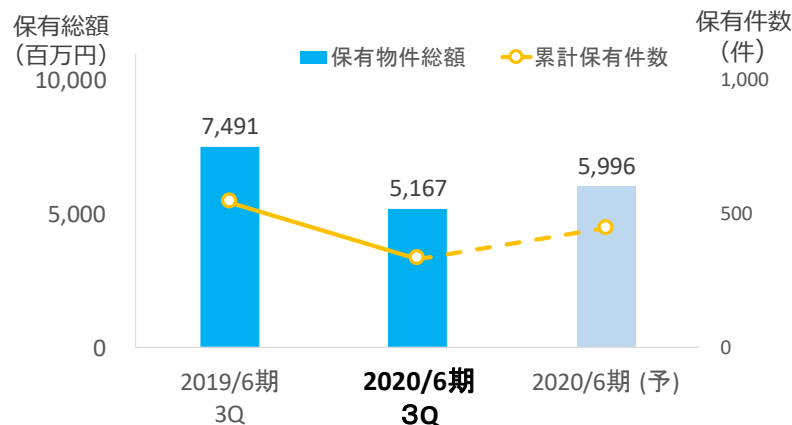
売上高・営業利益推移

	2019/6期 第3Q	2020/6期 第3Q	2020/6期 (予)	通期 進捗率
売上高 (百万円)	8,354	9,996	15,091	66.2%
営業利益 (百万円)	1,077	1,230	2,140	57.5%
営業利益率 (%)	12.9%	12.3%	14.2%	—
契約件数	410	509	827	61.5%
物件取得数	383	492	793	62.0%
累計保有件数	543	330	447	—
保有物件総額 (百万円)	7,491	5,167	5,996	—

契約件数・物件取得数の推移



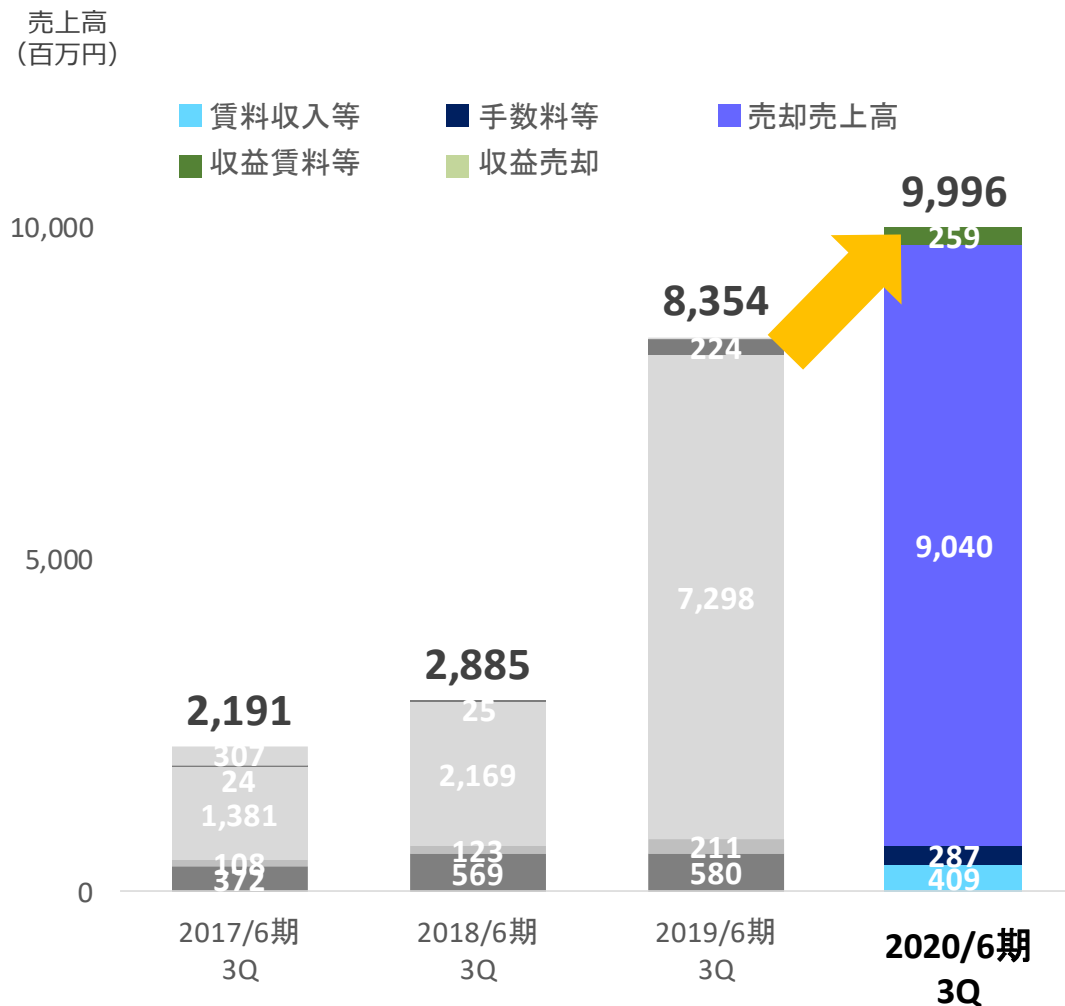
保有物件数・総額の推移



- 保有件数 330件・保有総額 51.6億円 契約件数 509件 (月平均 56.6件)
- HLB5号ファンドへ売却 譲渡価格27.5億円
- 問合せ数増加に伴い、契約件数も拡大 **積極的な広告宣伝及び人財投資を継続**



売上高推移



**売上高
19.7%増**

再売買、処分売却、
買取会社、ファンドへの売却
493件 売上高 90億4百万円

**進捗率
66.2%**



営業利益推移

営業利益
(百万円)

1,500

1,000

500

0

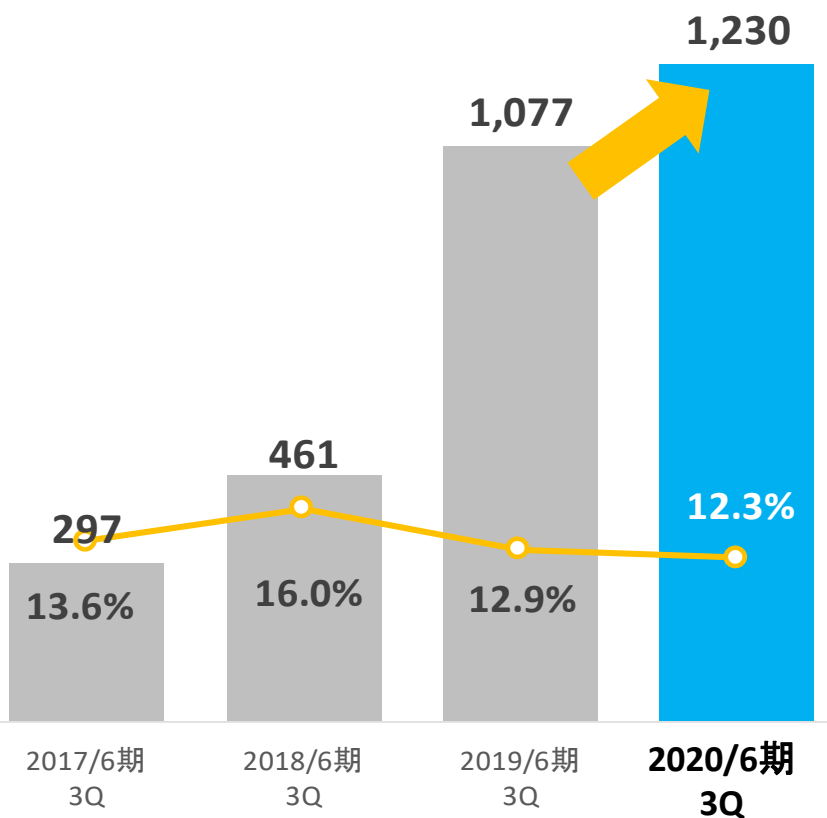
2017/6期
3Q

2018/6期
3Q

2019/6期
3Q

2020/6期
3Q

■ 営業利益 ○ 営業利益率



営業利益率
(%)

60%

40%

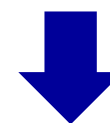
20%

0%

営業利益 14.3%増

再売買、処分売却、
買取会社、ファンドへの売却

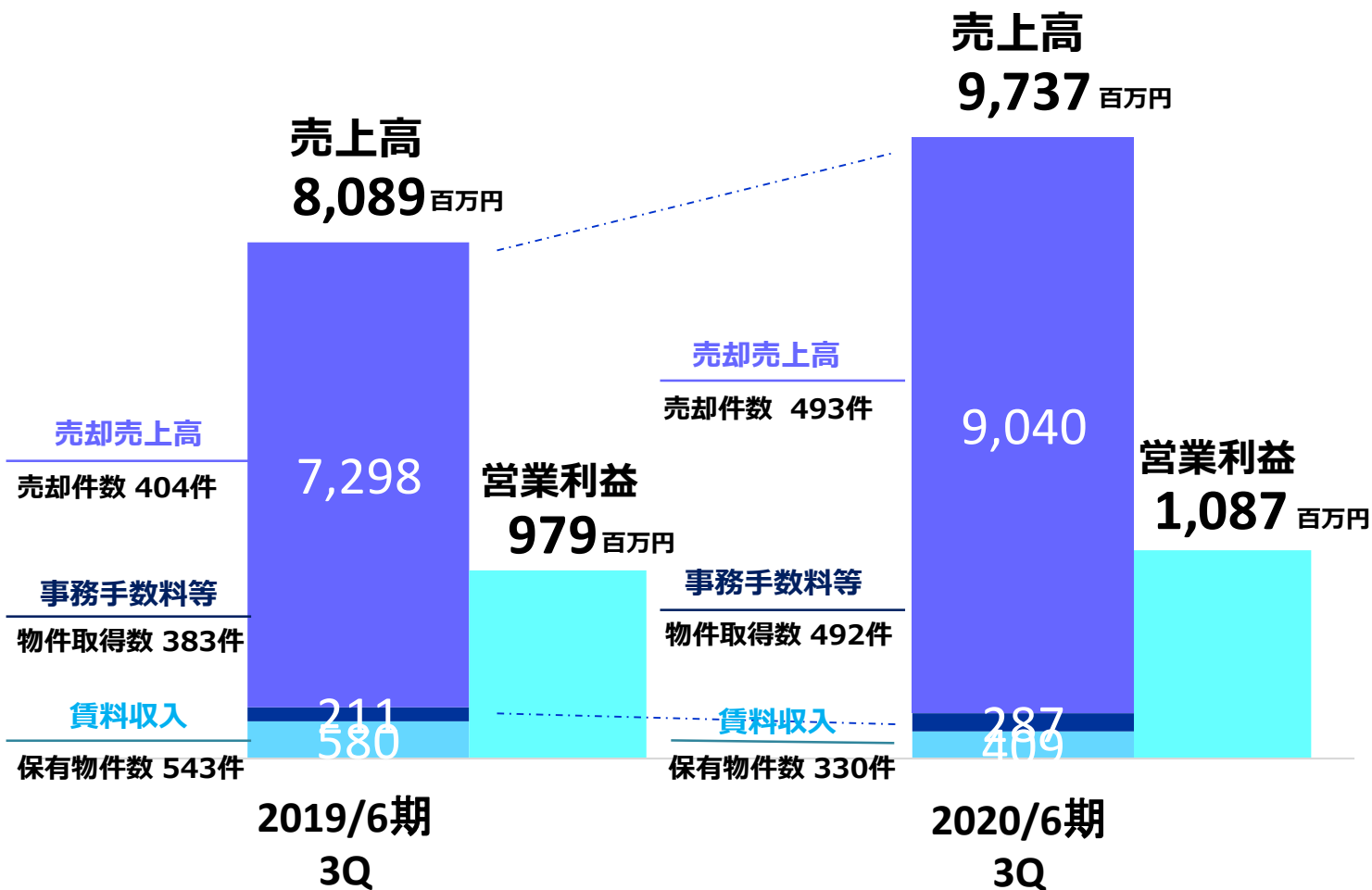
粗利 18億円



進捗率 57.5%



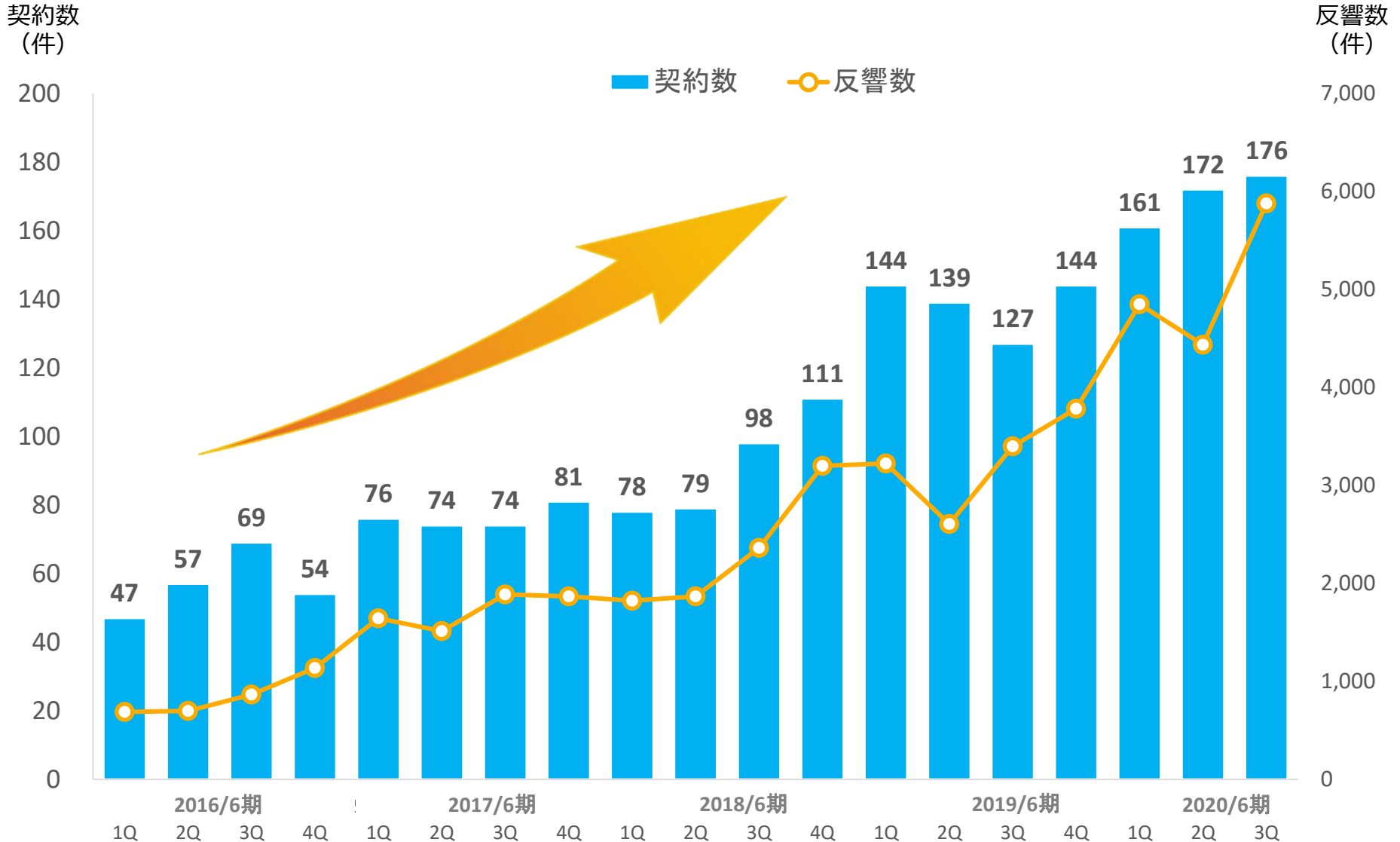
ハウス・リースバック事業(単独)



月平均
仕入契約件数 **45.6件**

56.6件 ↑ **24.1%増**

ハウス・リースバック契約数・反響数（四半期推移）





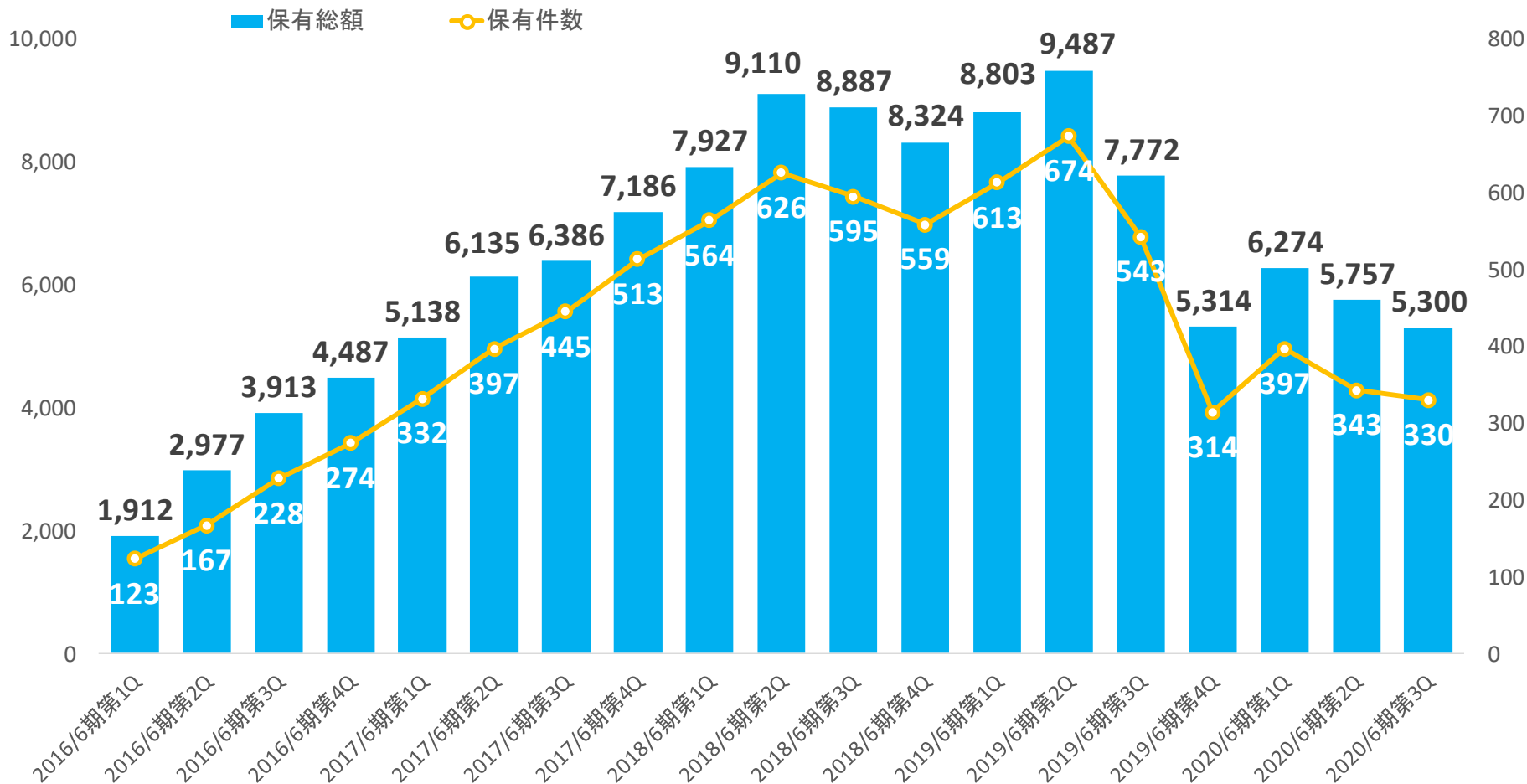
保有総額・保有件数



保有総額
(百万円)

※保有総額：取得時価格の累計（未償却）

保有件数
(件)



「住みながら、売却できる。」

ストック収益



キャピタルゲイン

ハウス・リースバック®

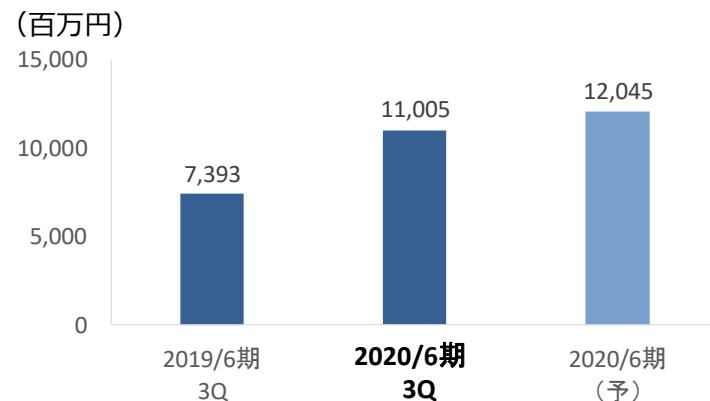




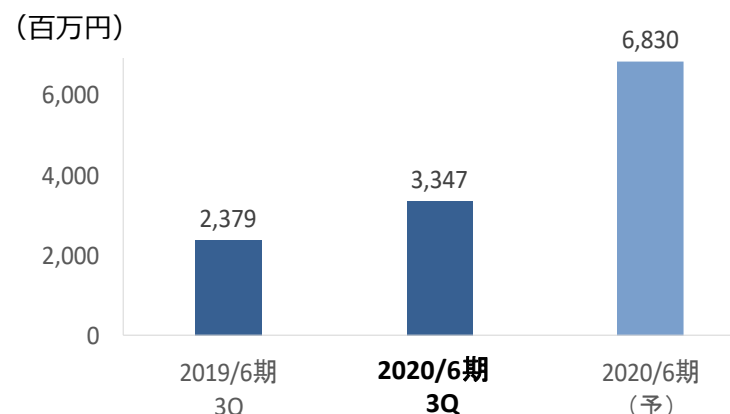
売上高・営業利益推移

	2019/6期 第3Q	2020/6期 第3Q	2020/6期 (予)	通期 進捗率
売上高 (百万円)	612	790	1,238	63.9%
営業利益 (百万円)	61	0	335	—
営業利益率 (%)	10.0%	0.0%	27.1%	—
不動産担保融資実行件数	135	151	405	37.3%
不動産担保融資残高 (百万円)	7,393	11,005	12,045	—
リバースモーゲージ保証件数	101	108	692	15.6%
リバースモーゲージ保証残高 (百万円)	2,379	3,347	6,830	—

不動産担保融資残高の推移



リバースモーゲージ保証残高の推移



- 不動産担保融資残高 354件 110.0億円 旺盛な資金需要に対応
- リバースモーゲージ保証残高 33.4億円
- 収益は伸長、第3四半期は利益改善しプラス転化



売上高推移

売上高
(百万円)

1,000

500

0

142

2017/6期
3Q

359

2018/6期
3Q

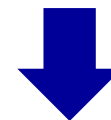
612

2019/6期
3Q

790

2020/6期
3Q

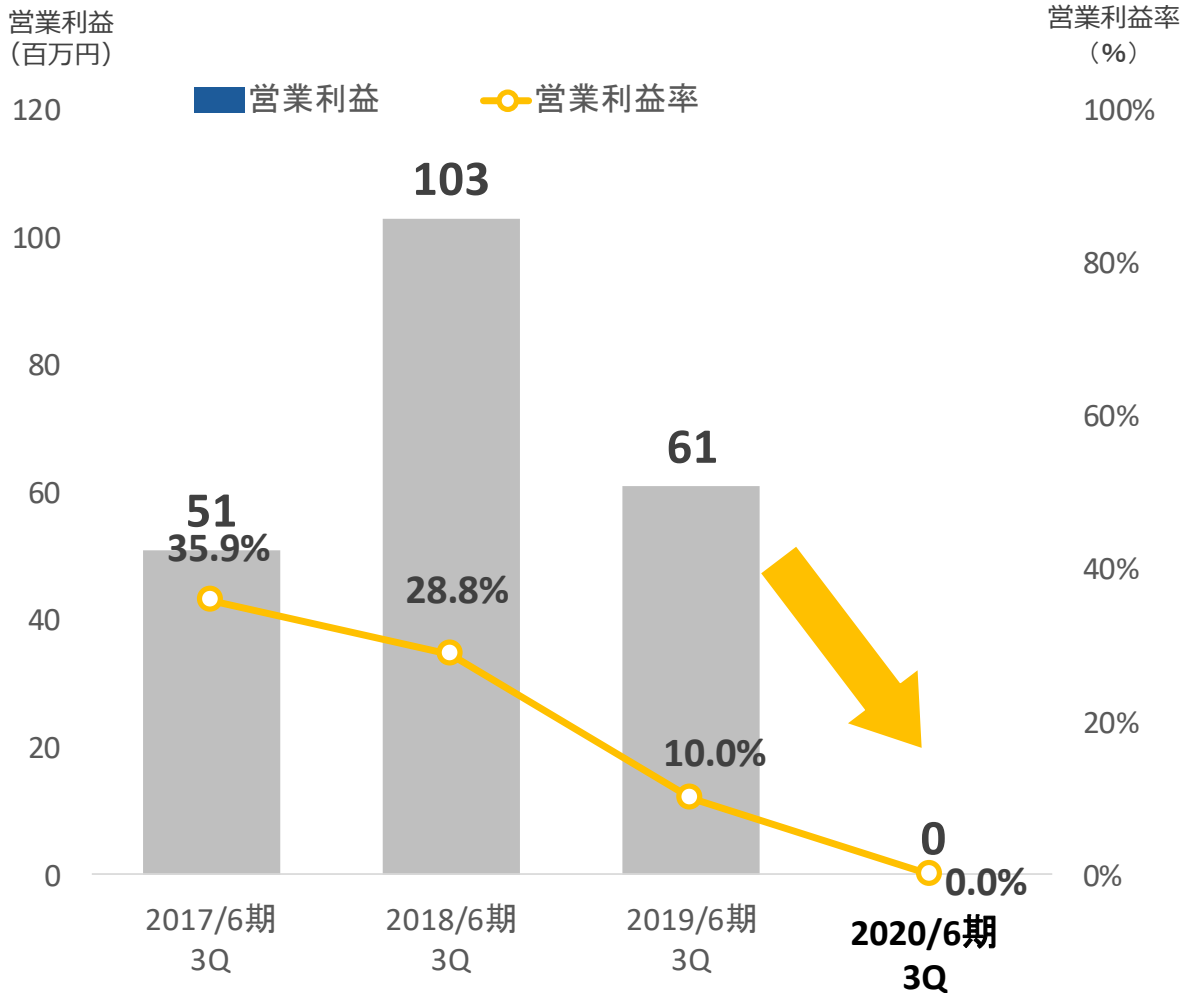
売上高
29.1%増



進捗率
63.9%



営業利益推移

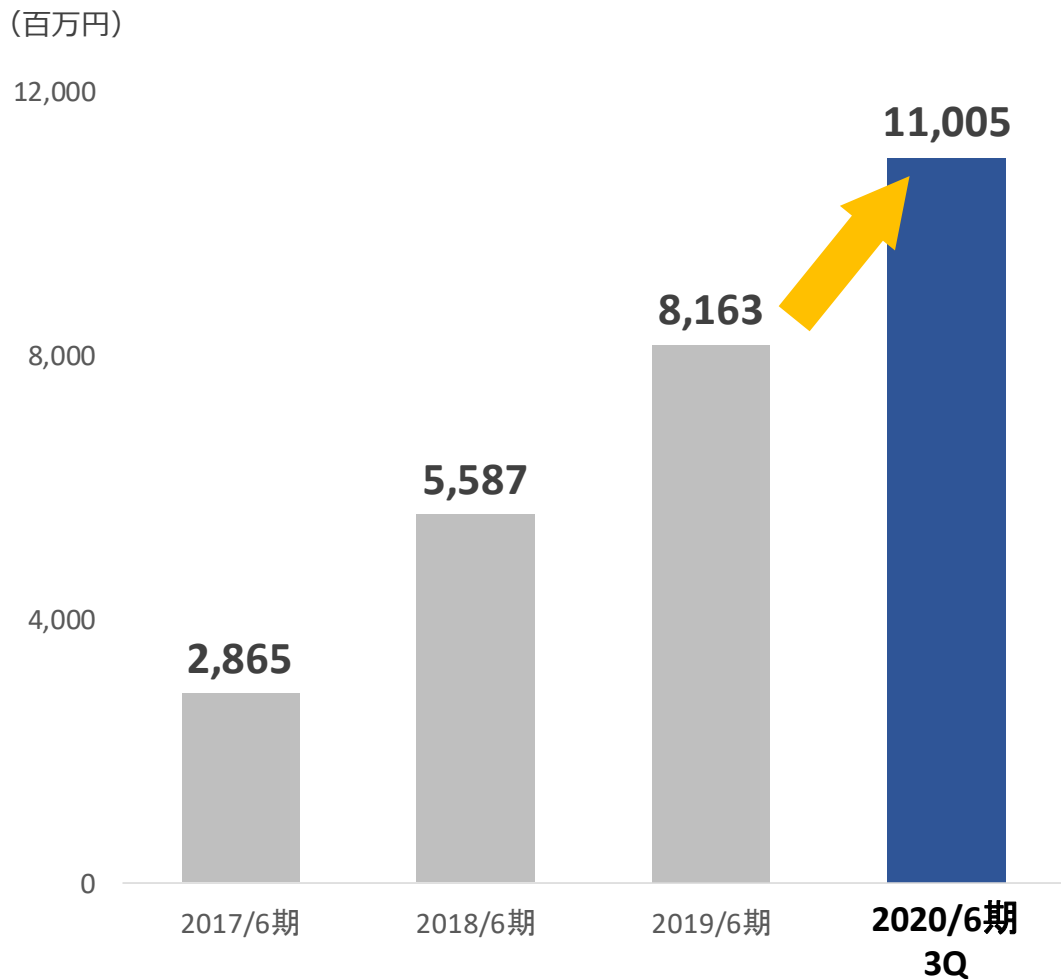


営業利益 0百万円

第3四半期はプラス転化



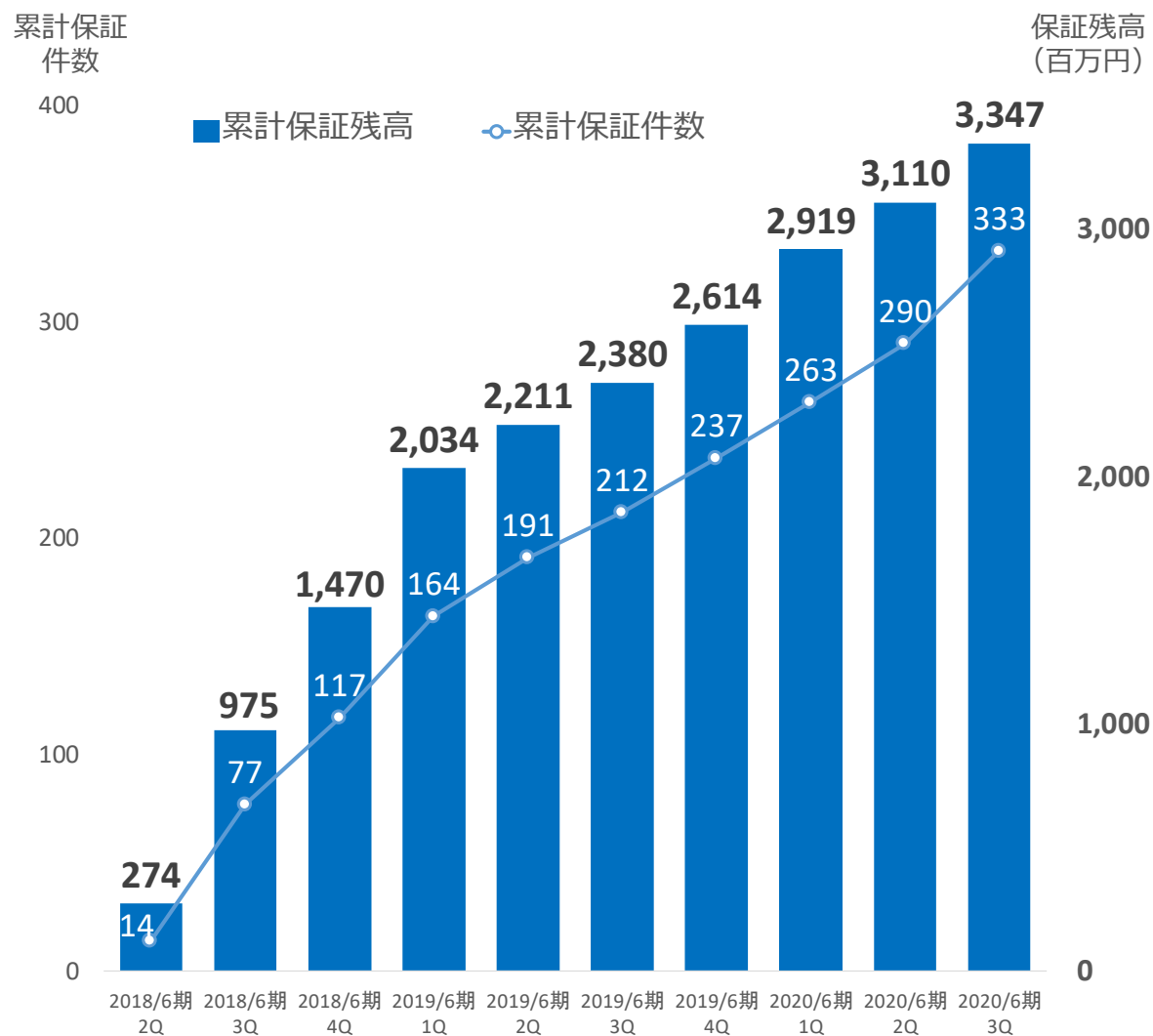
融資残高の推移



不動産担保融資残高
110.0億円

前期末より**+28.4億円**

リバースモーゲージ保証累積件数・保証残高推移



保証件数 333件
保証残高 33.4億円

12金融機関と提携

引き合いは増加
さらなる拡大に注力

大光銀行

2018.9.21

大阪信用金庫

2017.10.2

大阪商工信用金庫

2018.4.20

飯能信用金庫

2018.5.31

足立成和信用金庫

2019.3.28

東京スター銀行

2019.9.20

さわやか信用金庫 **NEW**

2020.3.16

神奈川銀行

2019.2.8

浜松磐田信用金庫 **NEW**

2020.01.15

愛媛銀行

2019.8.16

尾西信用金庫

2019.3.28

知多信用金庫

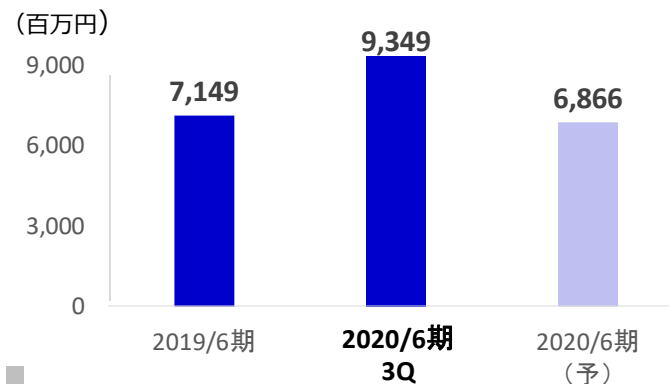
2018.9.19



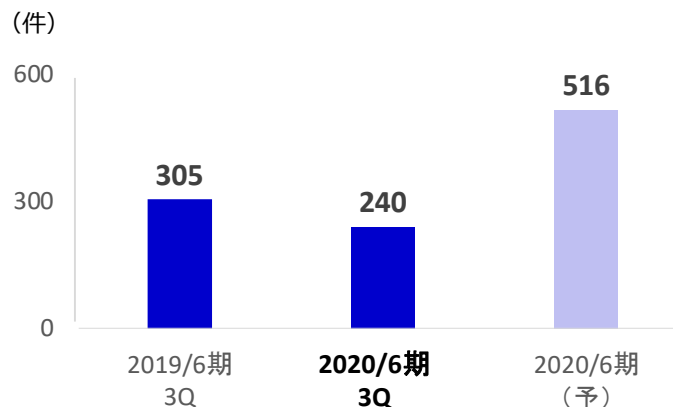
売上高・営業利益推移

	2019/6期 第3Q	2020/6期 第3Q	2020/6期 (予)	通期 進捗率
売上高 (百万円)	6,908	5,095	9,705	52.5%
営業利益 (百万円)	579	227	869	26.2%
営業利益率 (%)	8.4%	4.5%	9.0%	—
取引件数	305	240	516	46.5%

たな卸資産の推移



取引件数の推移

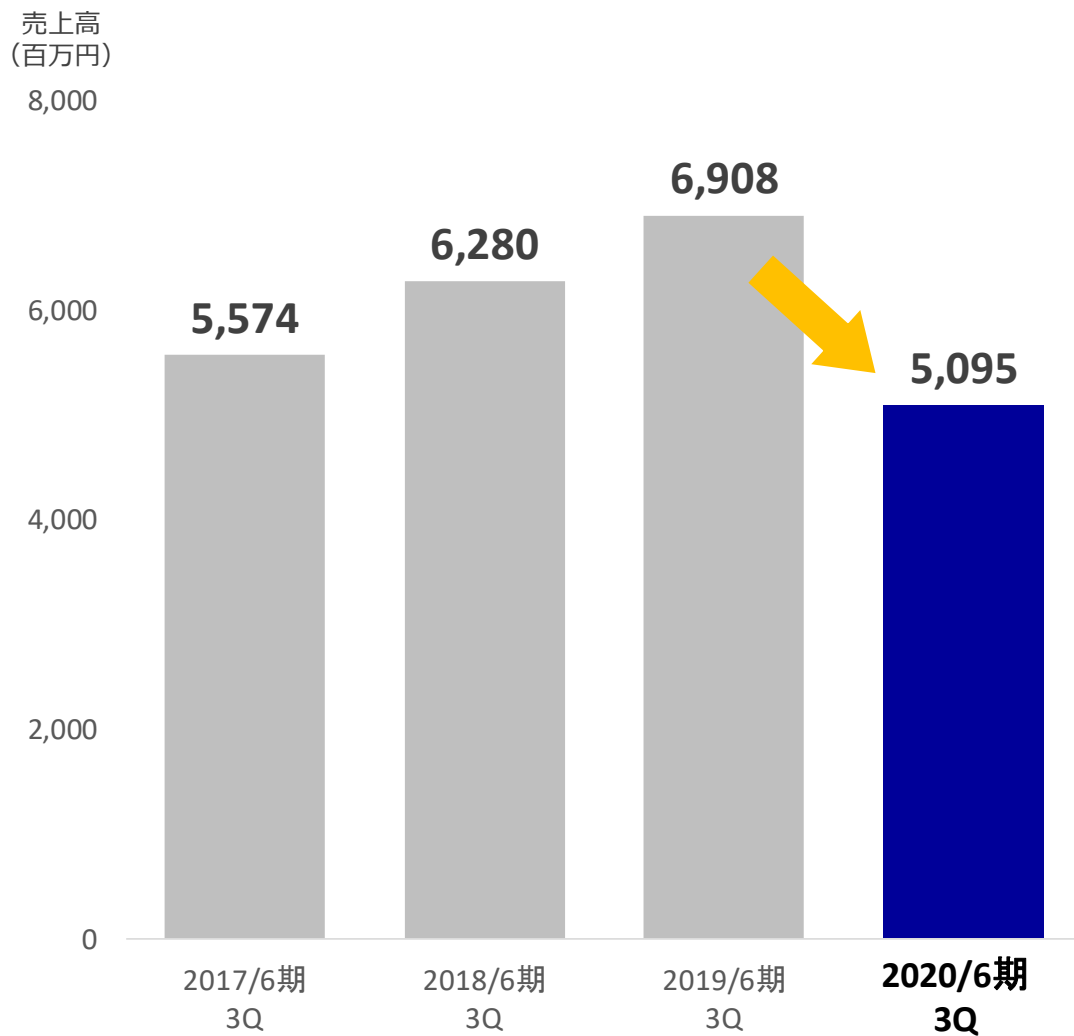


■ 消費税増税後の影響に加え、新型コロナウイルス感染症拡大による住宅設備品等の納期遅延等も業績に影響

■ 仲介事業直営店とのシナジーを強化し、良質な物件を厳選した仕入に注力

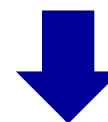


売上高推移



売上高
26.2%減

取引件数240件
前年同期比 **21.3%減**



進捗率
52.5%



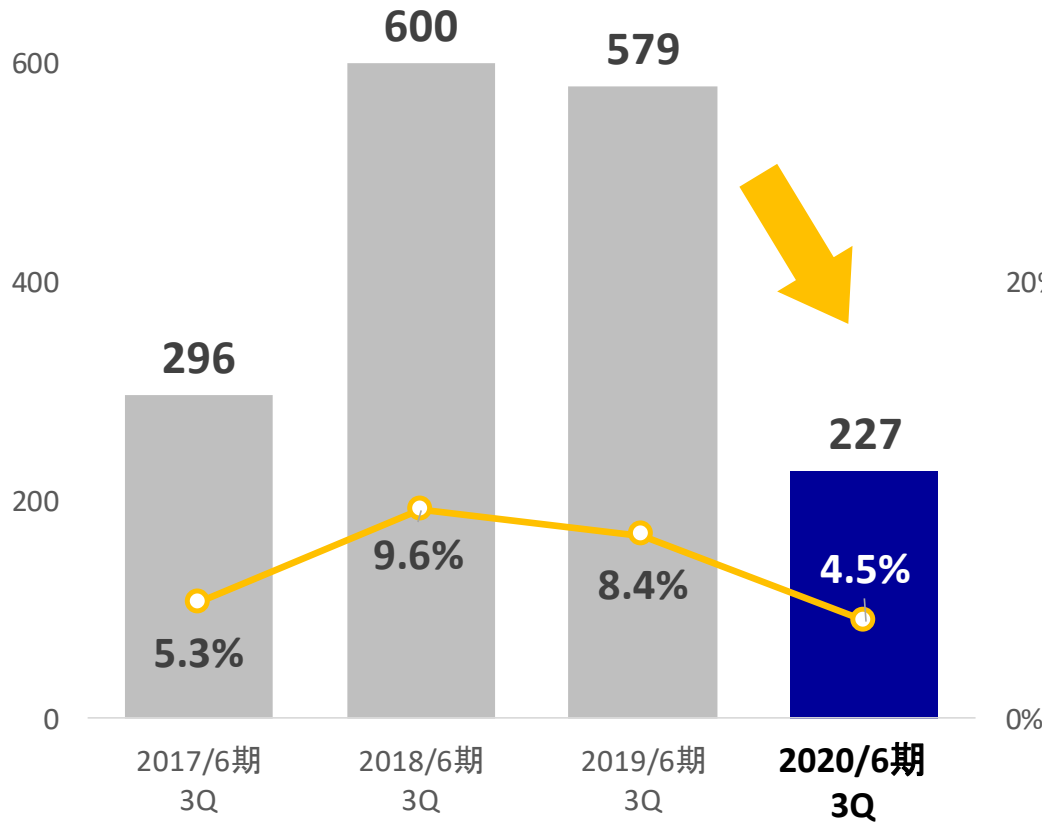
営業利益推移

営業利益
(百万円)

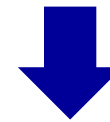
■ 営業利益

○ 営業利益率

営業利益率
(%)



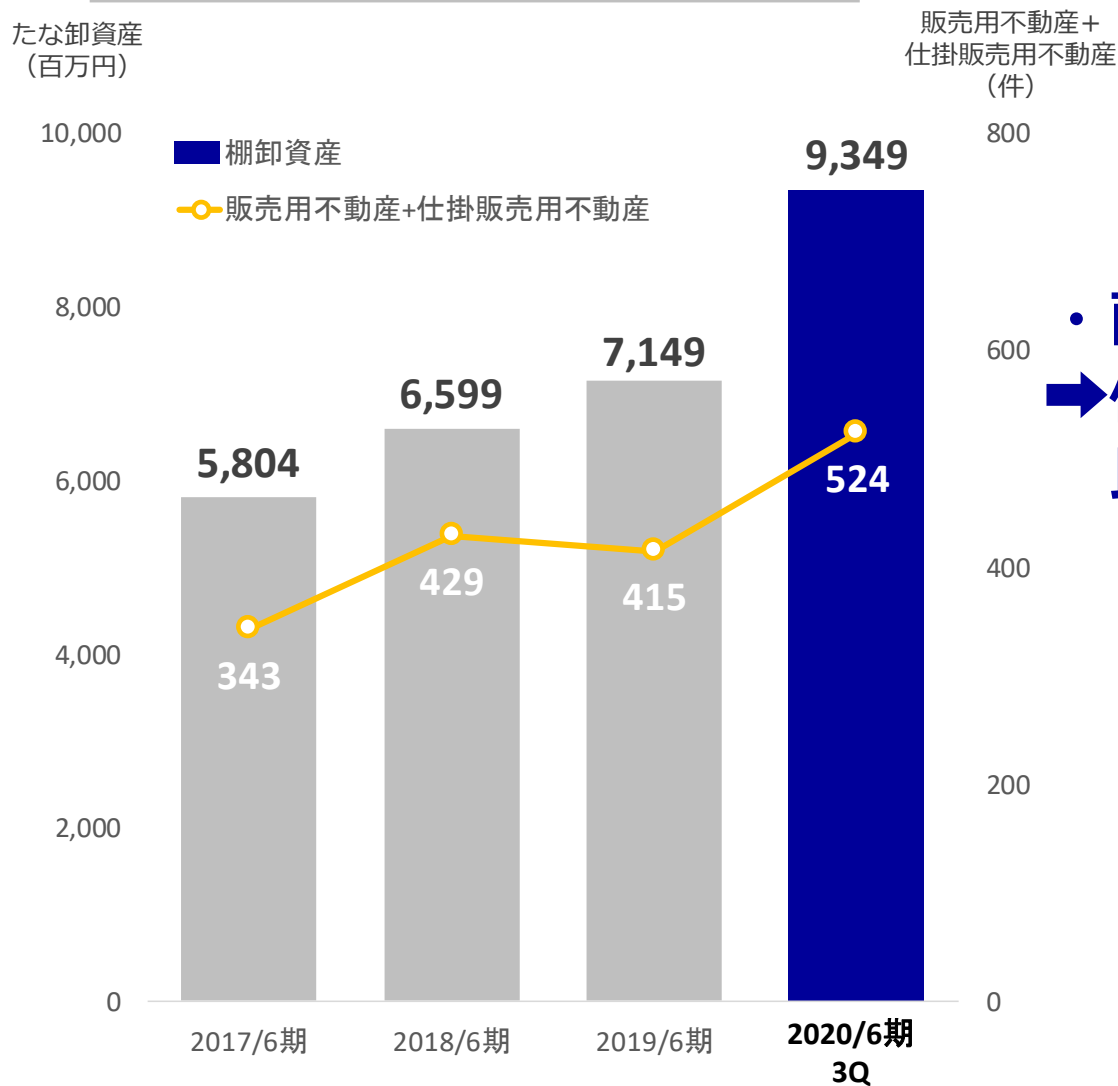
**営業利益
60.7%減**



**進捗率
26.2%**



たな卸資産推移

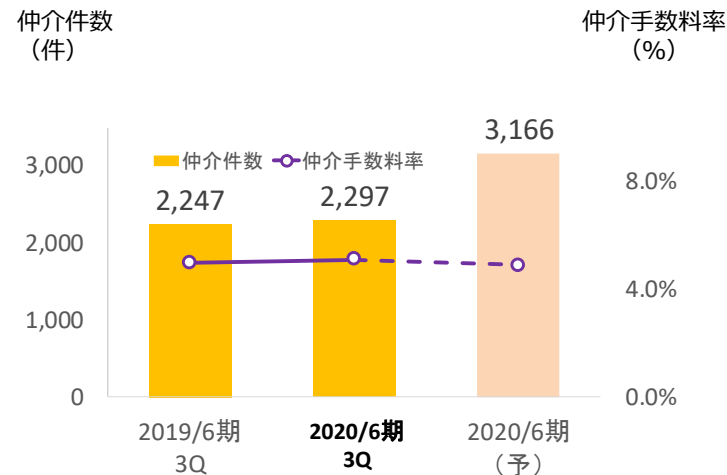


・直営店とのシナジー
 ➡ 仲介顧客ニーズに応じた
 良質な物件を厳選

売上高・営業利益推移

	2019/6期 第3Q	2020/6期 第3Q	2020/6期 (予)	通期 進捗率
売上高（百万円）	1,504	1,649	2,140	77.0%
営業利益（百万円）	366	389	520	74.8%
営業利益率（%）	24.3%	23.6%	24.3%	—
仲介件数	2,247	2,297	3,166	72.6%
仲介手数料率	4.98%	5.11%	4.90%	—

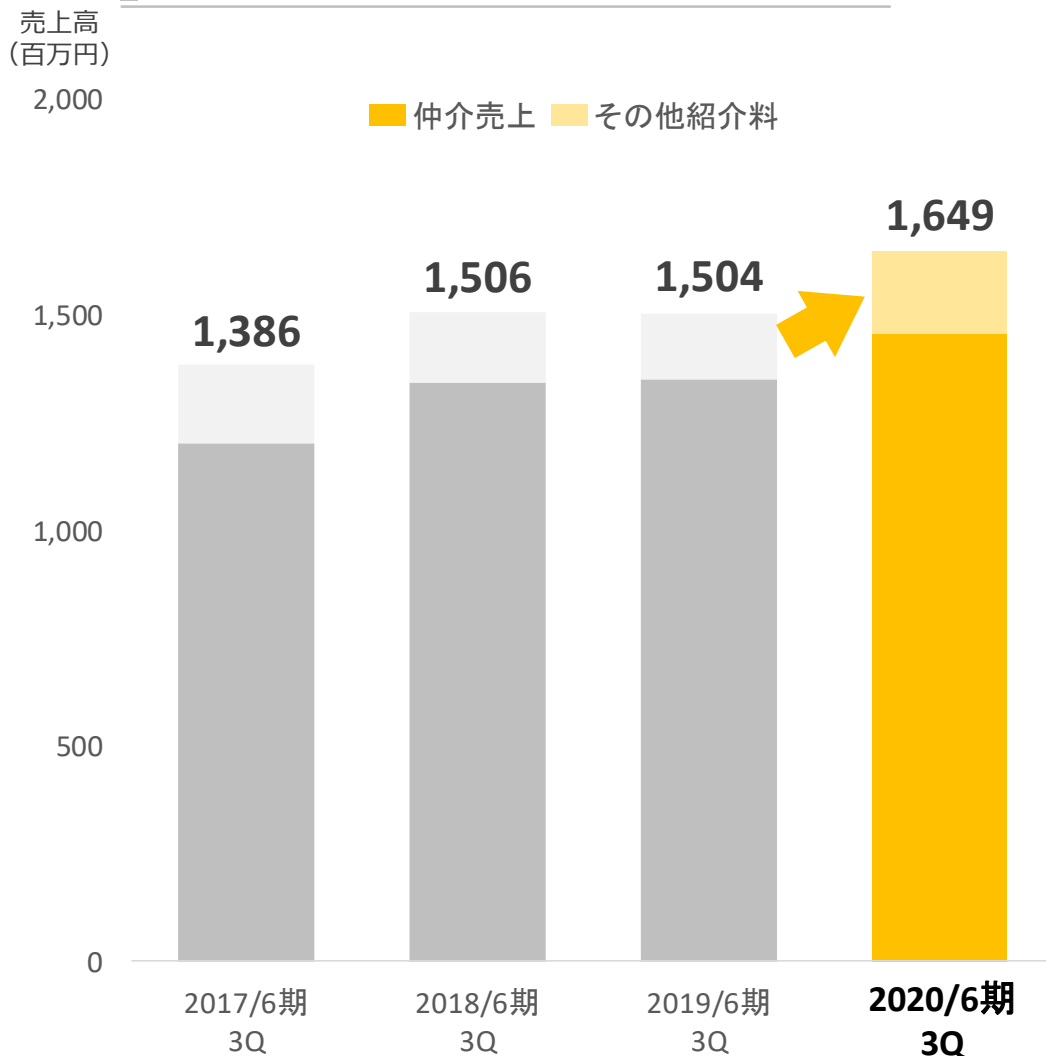
仲介件数・手数料率の推移



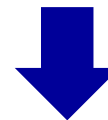
- 仲介件数 前期比 2.2%増 **第3四半期の繁忙期は例年並みに推移**
- 注力事業に人員シフトの中、新人の育成、活用が順調
- **ハウス・リースバックや買取、リフォームなどワンストップでグループシナジーを効かせる**



売上高推移



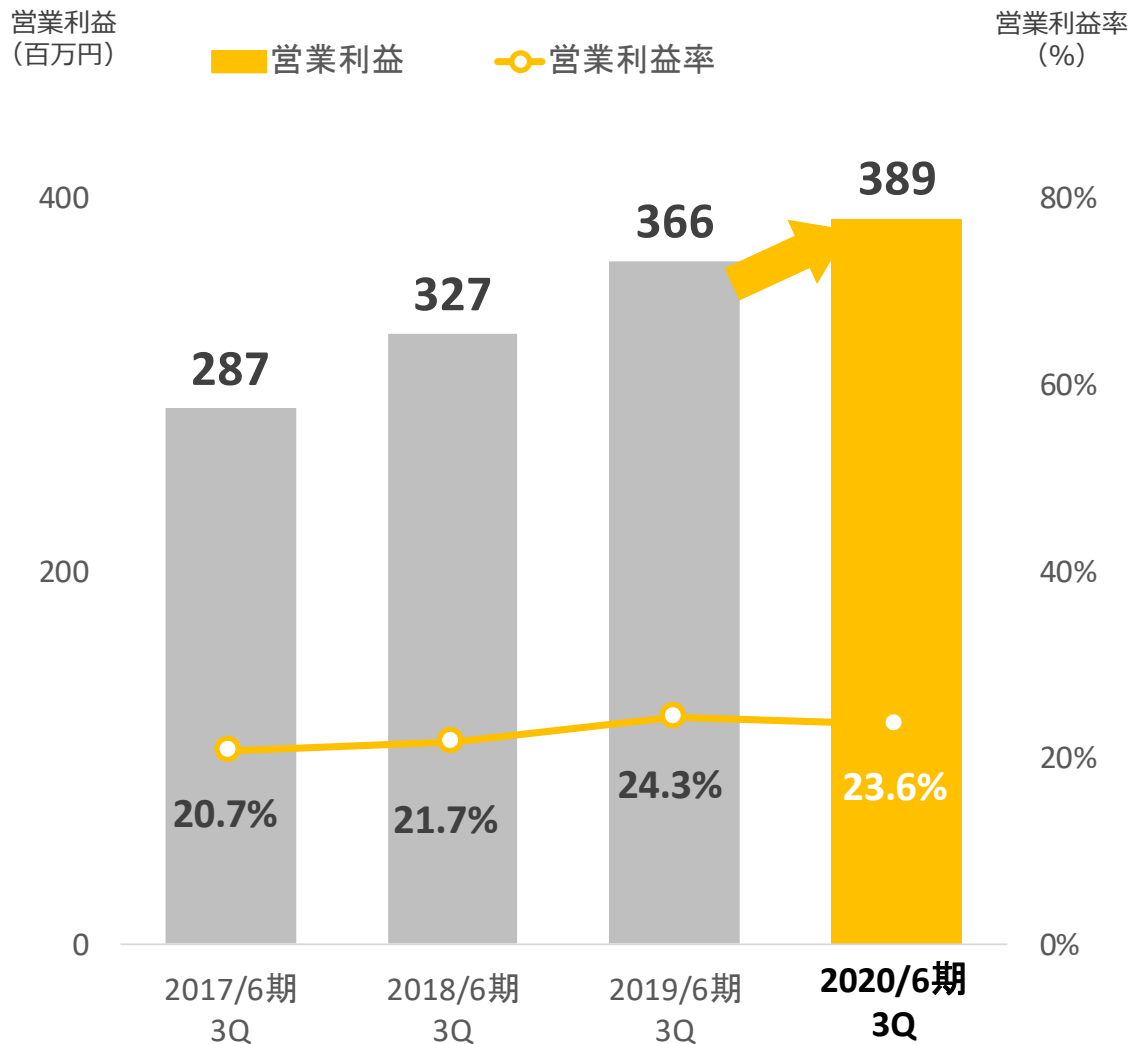
売上高
9.6%増



進捗率
77.0%



営業利益推移



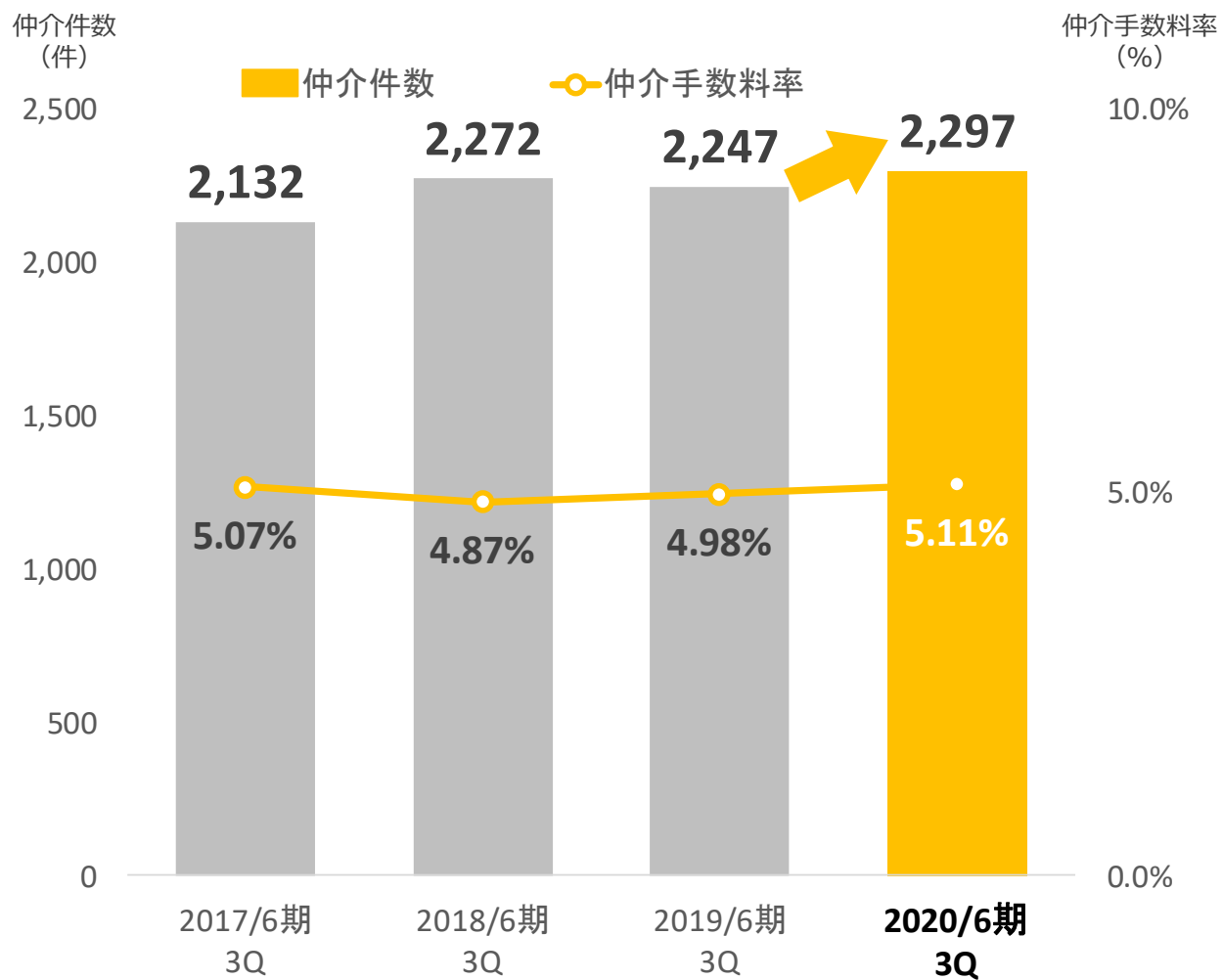
**営業利益
6.3%増**



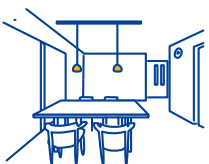
**進捗率
74.8%**



仲介件数・手数料率の推移



**仲介件数
2.2%増**



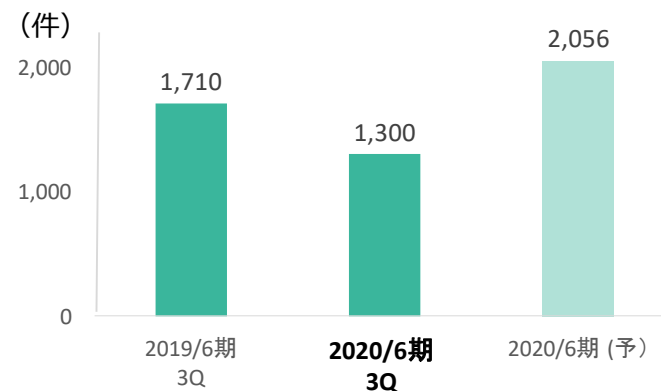
リフォーム事業



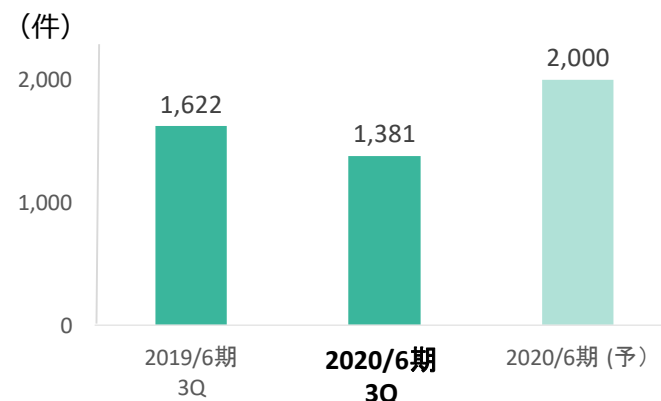
売上高・営業利益推移

	2019/6期 第3Q	2020/6期 第3Q	2020/6期 (予)	通期 進捗率
売上高 (百万円)	2,282	2,037	3,097	65.8%
営業利益 (百万円)	224	102	300	34.0%
営業利益率 (%)	9.9%	5.0%	9.7%	—
リフォーム契約件数	1,710	1,300	2,056	63.2%
リフォーム引渡件数	1,622	1,381	2,000	69.1%

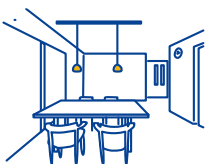
リフォーム契約件数の推移



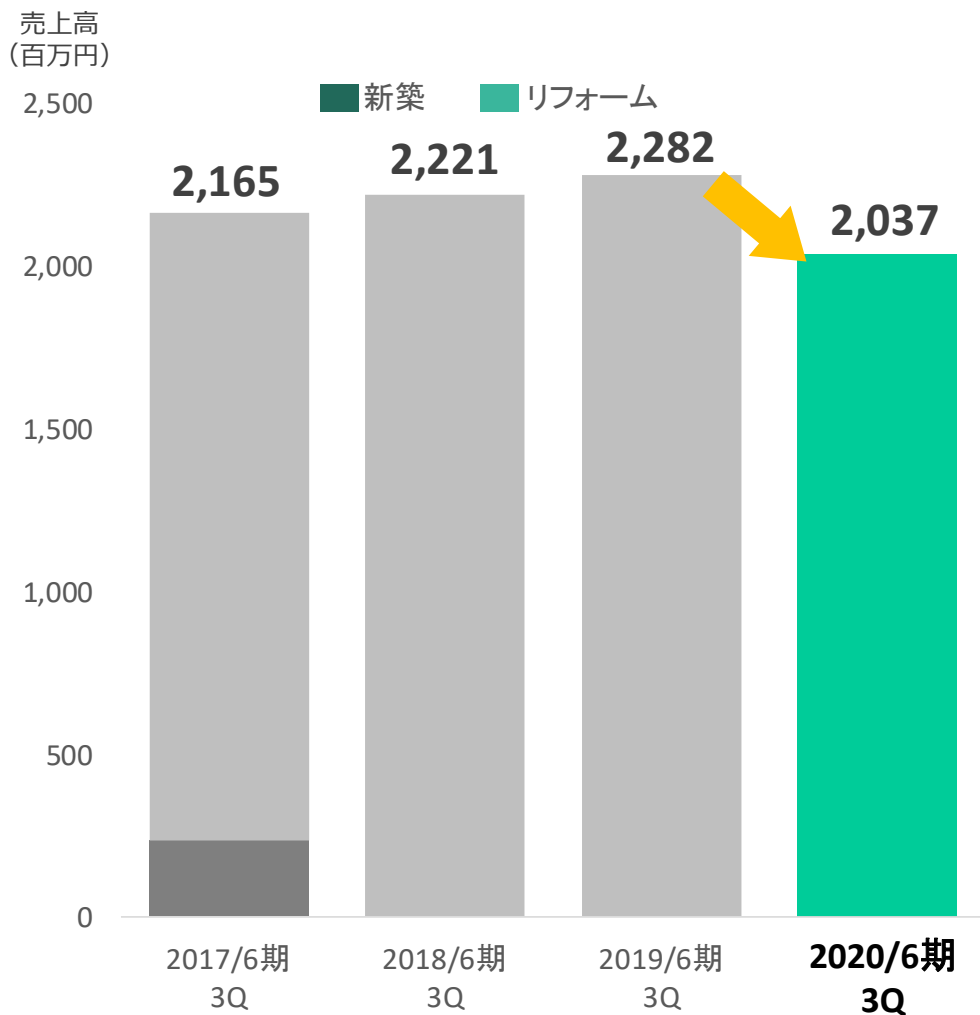
リフォーム引渡件数の推移



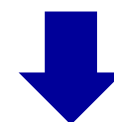
- 消費増税後の影響と新型コロナウイルス感染症拡大の影響による住宅設備品等の納期遅延の発生等により、売上高、利益ともに前年同期を下回る
- 仲介事業と連携し、中古住宅+リフォームのワンストップによる受注に繋げる



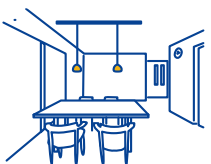
売上高推移



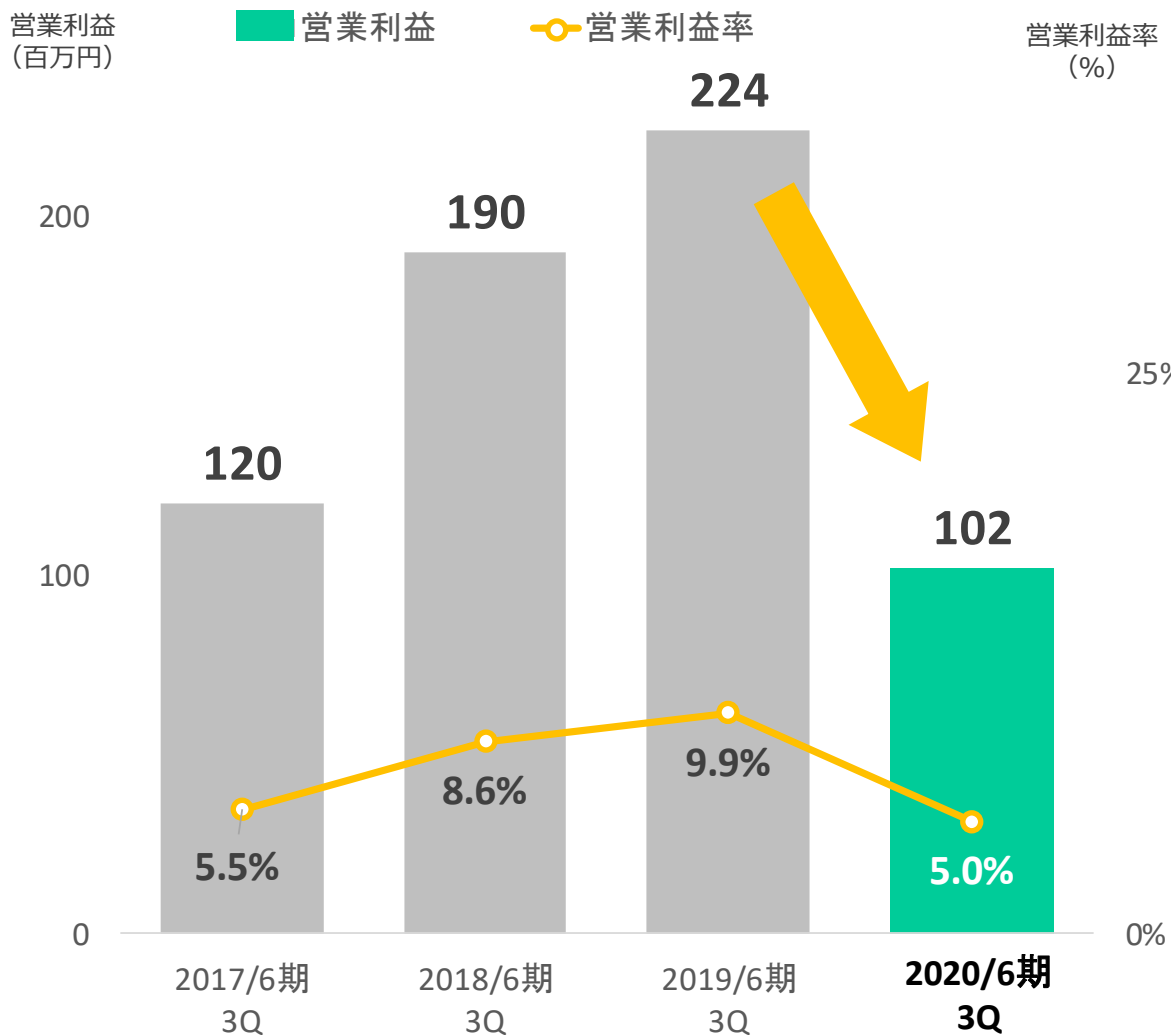
売上高
10.7%減



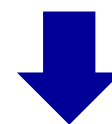
進捗率
65.8%



営業利益推移



**営業利益
54.6%減**

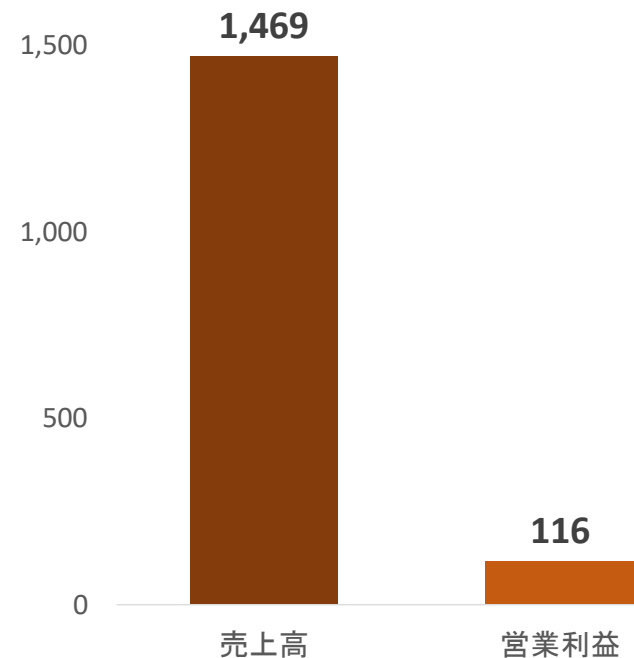


**進捗率
34.0%**

売上高・営業利益推移

	2019/6期 第3Q	2020/6期 第3Q	2020/6期 (予)	進捗率
売上高 (百万円)	—	1,469	3,162	46.5%
営業利益 (百万円)	—	116	337	34.5%
営業利益率 (%)	—	7.9%	10.7%	—
管理戸数	—	5,861	—	—

(百万円)



- 賃貸管理及び収益不動産の安定収入+付随収益に加え、売買事業の仕入・販売に注力
- ハウスドゥ！ブランドでの店舗展開を開始 既存事業の地域密着の強みとシナジーを効かせ、収益拡大を図る

販売費及び一般管理費の内訳



販売費及び一般管理費

	2019/6期第3Q		2020/6期第3Q		対前年 増減率
		売上 対比		売上 対比	
販売費及び 一般管理費	5,795	26.9%	7,235	31.5%	+ 24.9%
人件費	2,636	12.2%	3,279	14.3%	+ 24.4%
広告宣伝費	963	4.5%	1,148	5.0%	+ 19.2%
事務所維持費	237	1.1%	283	1.2%	+ 19.6%
その他販売管理費	1,957	9.1%	2,523	11.0%	+ 28.9%

(百万円)

(売上総利益 **7,710** **35.8%** **8,377** **36.5%**)

- 売上高販管費率 前年同期 26.9% → 31.5%に増加
- 収益拡大の機会に対応すべく、広告宣伝費及び人財に継続して投資
- その他販管費の増加は、M&A関連費用や支払手数料、管理費等が増加。

連結貸借対照表



(百万円)

(百万円)

	2019/6期	2020/6期 第3Q	増減
流動資産	28,351	33,607	+ 5,255
現金及び預金	12,444	12,207	▲ 236
たな卸資産	7,149	9,657	+ 2,508
その他	8,758	11,742	+ 2,983
固定資産	12,034	14,879	+ 2,844
有形固定資産	10,173	11,530	+ 1,356
無形固定資産	121	890	+ 768
投資その他の資産	1,740	2,458	+ 718
資産合計	40,386	48,486	+ 8,099

	2019/6期	2020/6期 第3Q	増減
負債	29,123	37,291	+ 8,168
流動負債	18,441	20,383	+ 1,941
固定負債	10,681	16,907	+ 6,226
純資産	11,263	11,195	▲ 68
株主資本	11,263	11,211	▲ 51
その他包括利益累計	▲ 32	▲ 49	▲ 16
新株予約権	32	32	—
負債純資産合計	40,386	48,486	+ 8,099

- たな卸資産の増加は、販売用不動産の増加等によるもの
- 流動資産その他の増加は、営業貸付金の増加等によるもの
- 有形固定資産の増加は、小山建設グループ全株式取得による連結子会社化等に伴うもの
- 無形固定資産の増加は、のれん償却費の増加等によるもの

自己資本比率

27.8%

23.0%

- 流動負債の増加は、1年内返済予定の長期借入金の増加等によるもの
- 固定負債の増加は、長期借入金の増加等によるもの
- 株主資本の減少は、当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加及び配当金支払いに伴う減少によるもの

たな卸資産・固定資産の推移

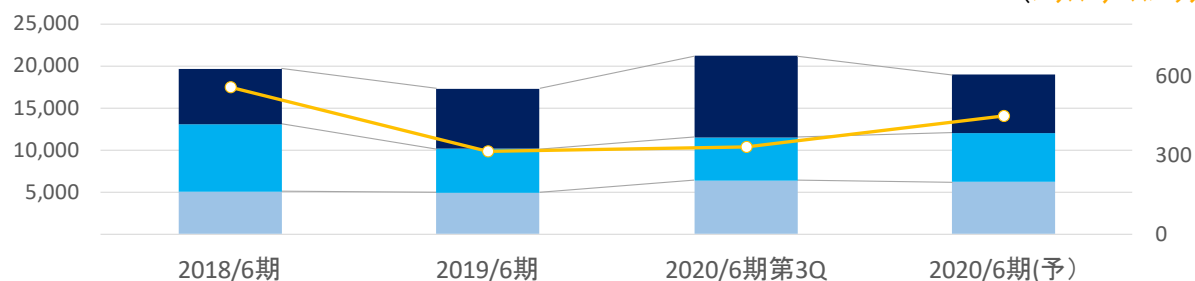


	2018/6期	2019/6期	2020/6期 第3Q	2020/6期 (予)
たな卸資産	6,599	7,149	9,657	6,866
固定資産（建物・土地）	13,045	10,112	11,498	12,043
内ハウス・リースバック	8,004	5,177	5,167	5,906
内その他	5,041	4,935	6,331	6,137
ハウス・リースバック 累計保有件数	559	314	330	447

単位(百万円)

(百万円)

(ハウス・リースバック保有件数:件)



■ たな卸資産は、売買事業の商品在庫

直営店とシナジーを効かせ、仲介ニーズに応じた仕入れを継続。在庫の回転率を注視

■ 小山建設グループの取得により、たな卸資産、固定資産も増加

■ 固定資産は、ハウス・リースバック事業のストックにより増加

- 持続的な業容拡大と収益性向上により企業価値を向上
- 配当性向30%以上を基本水準

	2019年6月期	2020年6月期予想
1株当たり配当額（円）	(普通配当34円 +記念配当3円) 37.0	34.0
配当総額（百万円）	719	661
1株当たり利益（円）	103.38	112.08
配当性向（%）	35.8%	30%以上

日付	リリース内容
1/15	リバースモーゲージの保証事業で浜松磐田信用金庫と提携
2/12	2020年6月期 第2四半期連結業績予想と実績値の差異に関するお知らせ
3/2	北陸を中心に多角化で積極展開するアースがハウズドゥ！に加盟
3/16	リバースモーゲージの保証事業でさわやか信用金庫と提携
3/16	ハウス・リースバック資産の流動化に関するお知らせ
3/24	(開示事項の経過) ハウス・リースバック資産の流動化完了のお知らせ

詳細は弊社コーポレートサイト（<https://www.housedo.co.jp/>）をご覧ください。

1

会社概要

2

2020年6月期 第3四半期 連結決算概要

3

2020年6月期 第3四半期 セグメント別決算概要

4

2020年6月期 年度計画及び中期経営計画

2020年6月期計画：セグメント別売上高・営業利益



2019年8月13日発表

単位（百万円）	売上高	増減率	営業利益	増減率	経常利益
フランチャイズ事業	3,148	+11.1%	1,846	+10.0%	営業外収益 +31 営業外費用 ▲252
ハウス・リースバック事業	15,091	+7.8%	2,140	+3.2%	
金融事業	1,238	+52.7%	335	+1,881.2%	
不動産売買事業	9,705	+7.4%	869	+11.7%	
不動産流通事業	2,140	+4.0%	520	+5.8%	
リフォーム事業	3,097	▲0.1%	300	▲3.0%	
小山建設グループ	3,162	—	337	—	
調整額	▲363		※ ▲2,828	—	
合計	37,221	+18.0%	3,521	+11.6%	3,300

【新型コロナウイルス感染症拡大の影響】

日本政府の緊急事態宣言の発表等に伴い、当社グループの事業へ影響を及ぼしてきておりますが、現時点においても未確定要素が多く引き続き精査が必要です。
 →通期業績への影響が明らかになった時点で速やかにお知らせします。

2020年6月期計画：四半期業績推移

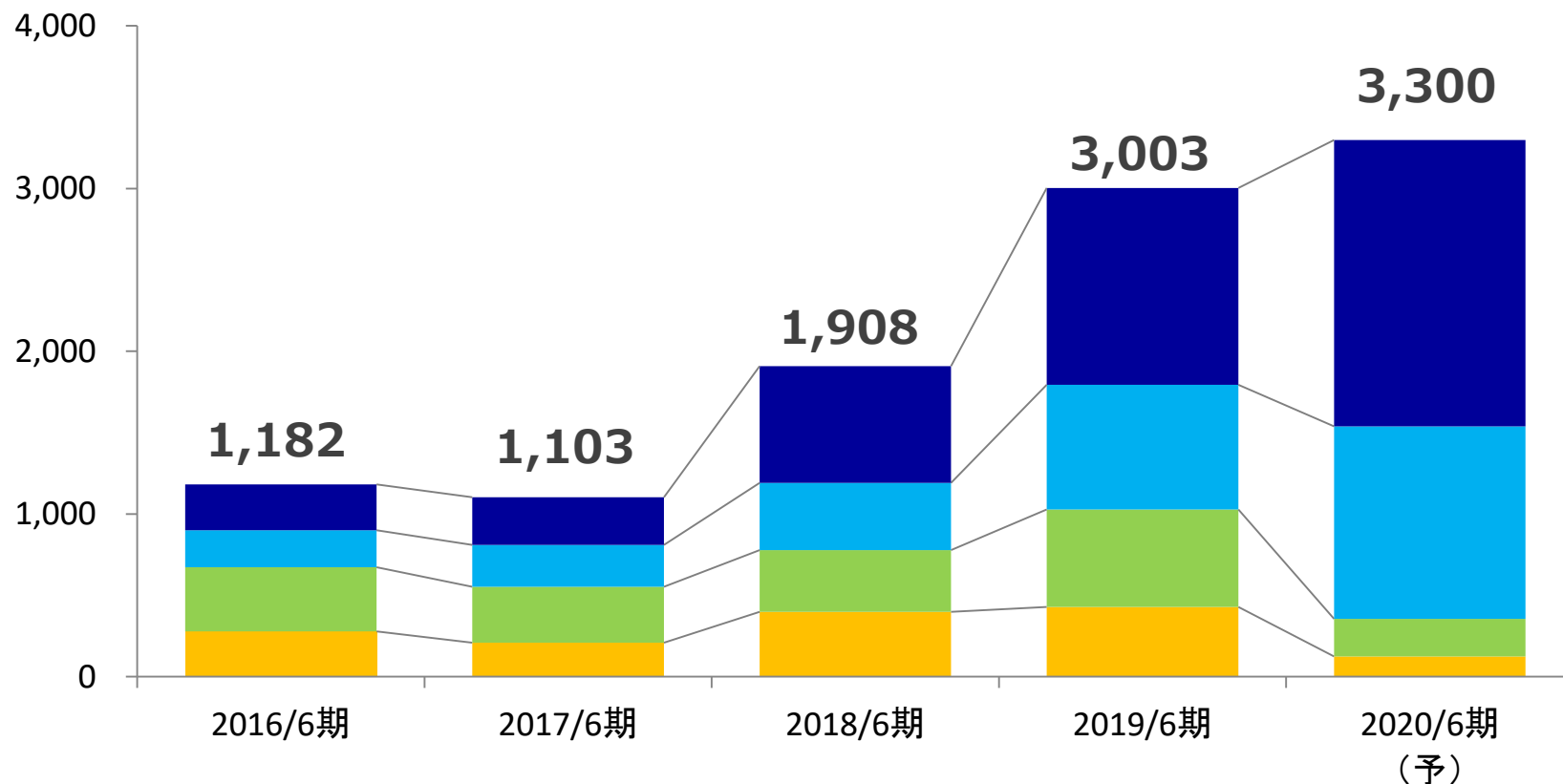


■ ハウス・リースバック資産の流動化による売却は3Q及び4Qに計画。
→ 上期はストック積み上げに注力。

※2019年8月13日発表時点

経常利益
(百万円)

■ 第1四半期 ■ 第2四半期 ■ 第3四半期 ■ 第4四半期



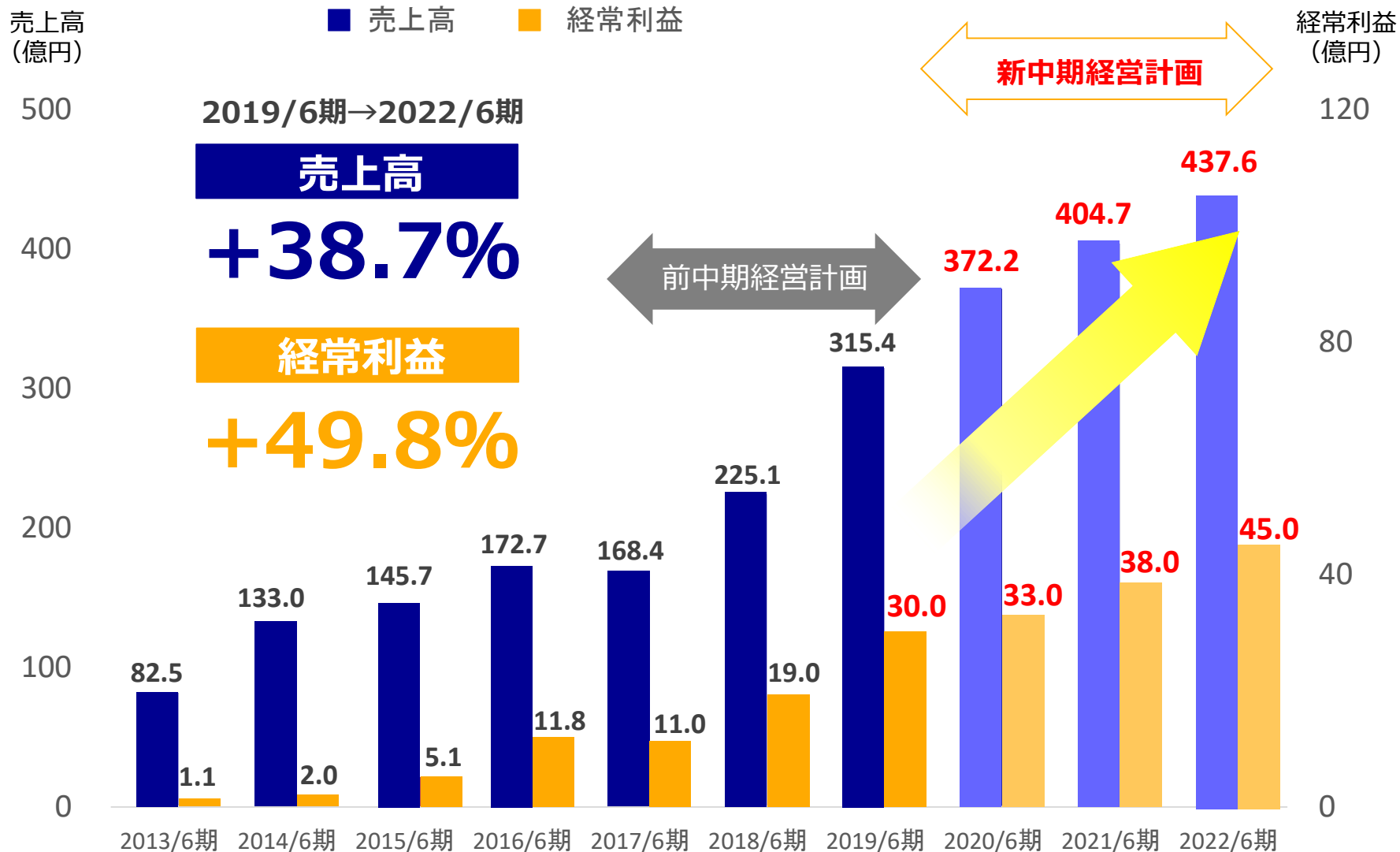
新中期経営計画（～2022年6月期）



(百万円)

	2019/6期	2020/6期 計画	2021/6期 計画	2022/6期 計画
売上高	31,546	37,221	40,476	43,761
営業利益	3,156	3,521	4,044	4,766
営業利益率 %	10.0%	9.5%	10.0%	10.9%
経常利益	3,003	3,300	3,800	4,500
経常利益率 %	9.5%	8.9%	9.4 %	10.3%
経常利益 対前年増減率	+57.3%	+9.9%	+15.2%	+18.4%

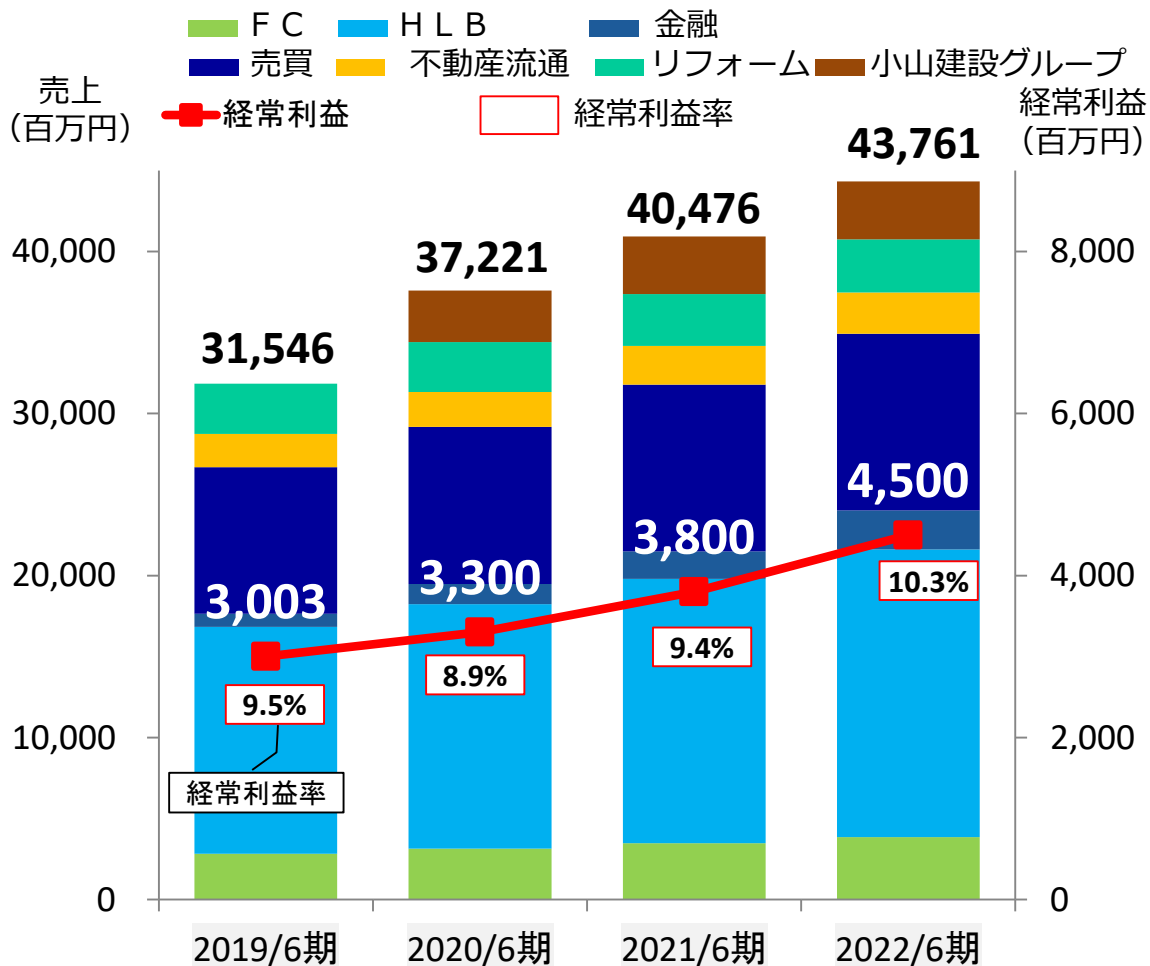
新中期経営計画（～2022年6月期）



新中期経営計画（～2022年6月期）



次期3カ年：売上・経常利益計画



2022年6月期目標
経常利益45億円
(経常利益率10.3%)

- ハウス・リースバックを中心に、ストック型収益事業を基盤とした持続的成長モデルへ
- 小山建設グループの実質利益貢献は2021/6期以降
- 次なるストック型収益の柱として、リバースモーゲージ保証に注力

売上 対前年増減率	+40.1%	+18.0%	+8.7%	+8.1%
経常利益 対前年増減率	+57.3%	+9.9%	+15.2%	+18.4%

- 株主様に対する利益還元を重要な経営課題とし、安定的かつ継続的な配当を実施
- 配当性向30%以上を基本水準と定め、実施予定

	2019年6月期	2020年6月期 (予)	2021年6月期 (予)	2022年6月期 (予)
経常利益 (百万円)	3,003	3,300	3,800	4,500
当期純利益 (百万円)	2,006	2,178	2,508	2,970
配当性向 (%)	35.8%	30%以上		

■ ハウス・リースバックの仕入強化

■ リバースモーゲージ保証事業、アセット・リースバック

■ FC加盟店強化

■ 小山建設グループ

■ タイ事業

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、変更がある場合は速やかにお知らせします。

■ 保証事業

↳ 事業性融資保証

↳ 賃貸保証サービス

■ レントドウ！国内1,000店舗へ

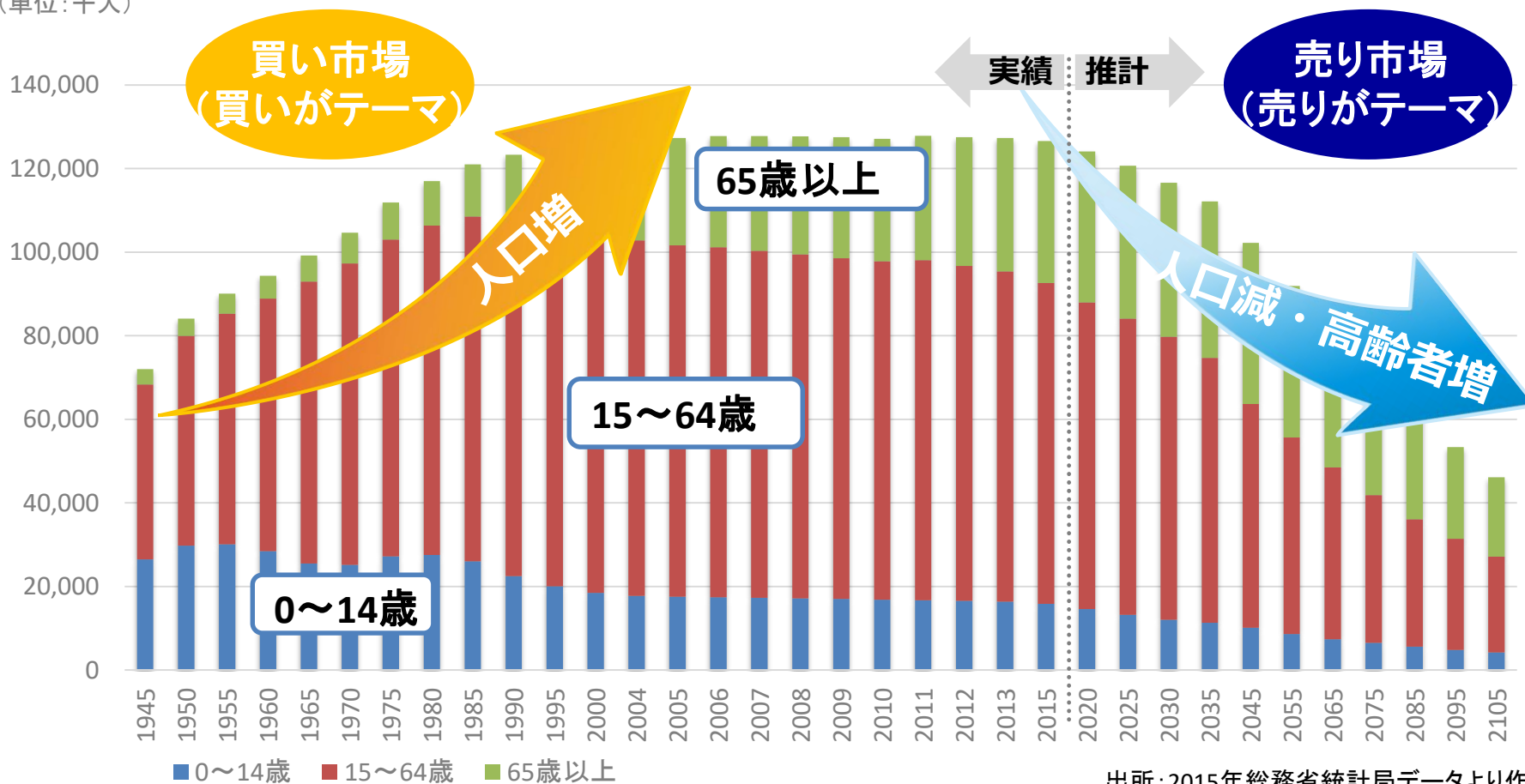
■ 空家活用の時間貸し「タイムルーム」、マンスリー

■ 国内M&Aへの積極的な取組

【事業承継問題、賃貸管理や資産を保有している不動産会社】

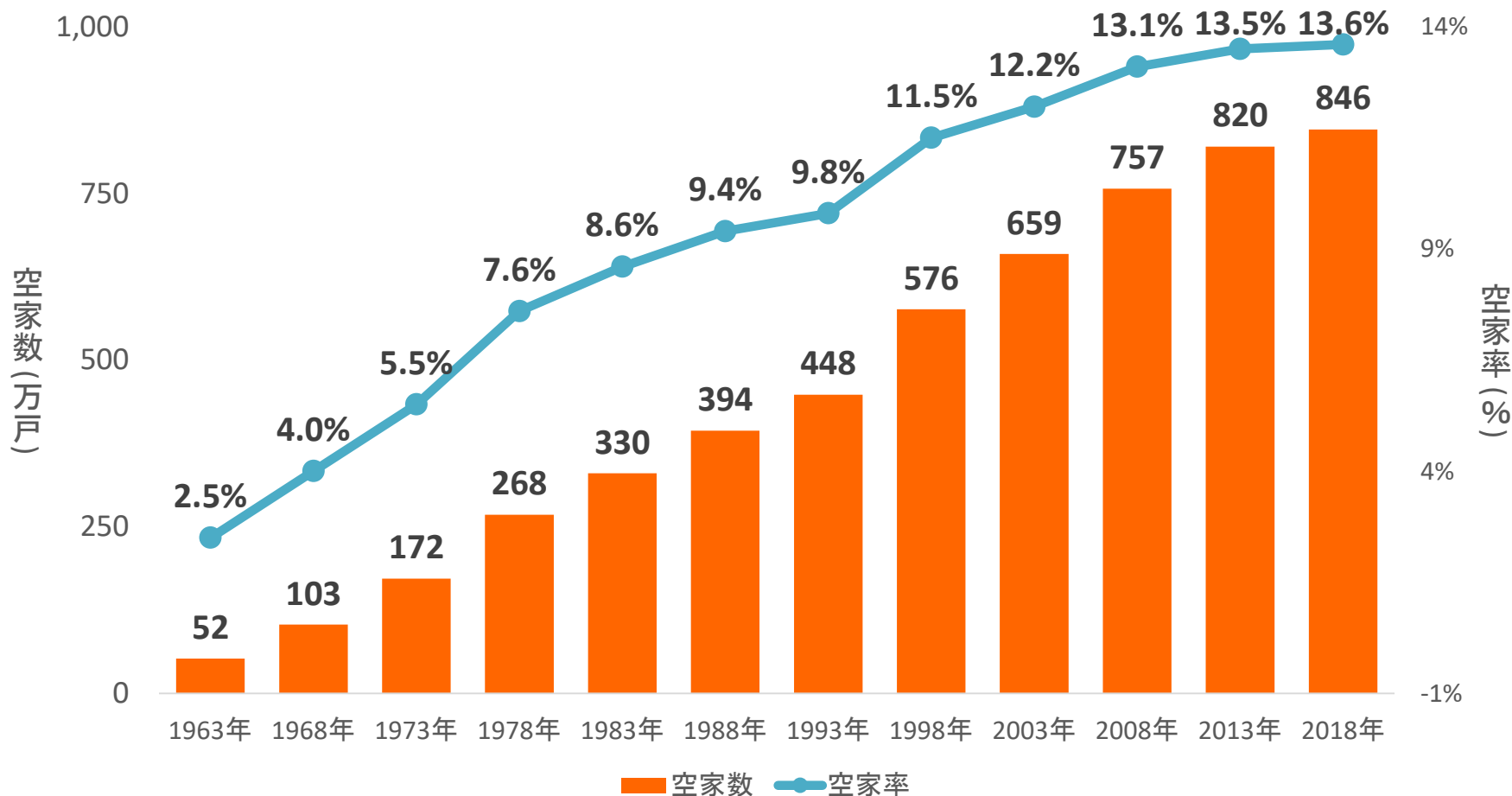
高齢者マーケットが拡大 → 「創る」から「活用・処分」へ

(単位:千人)



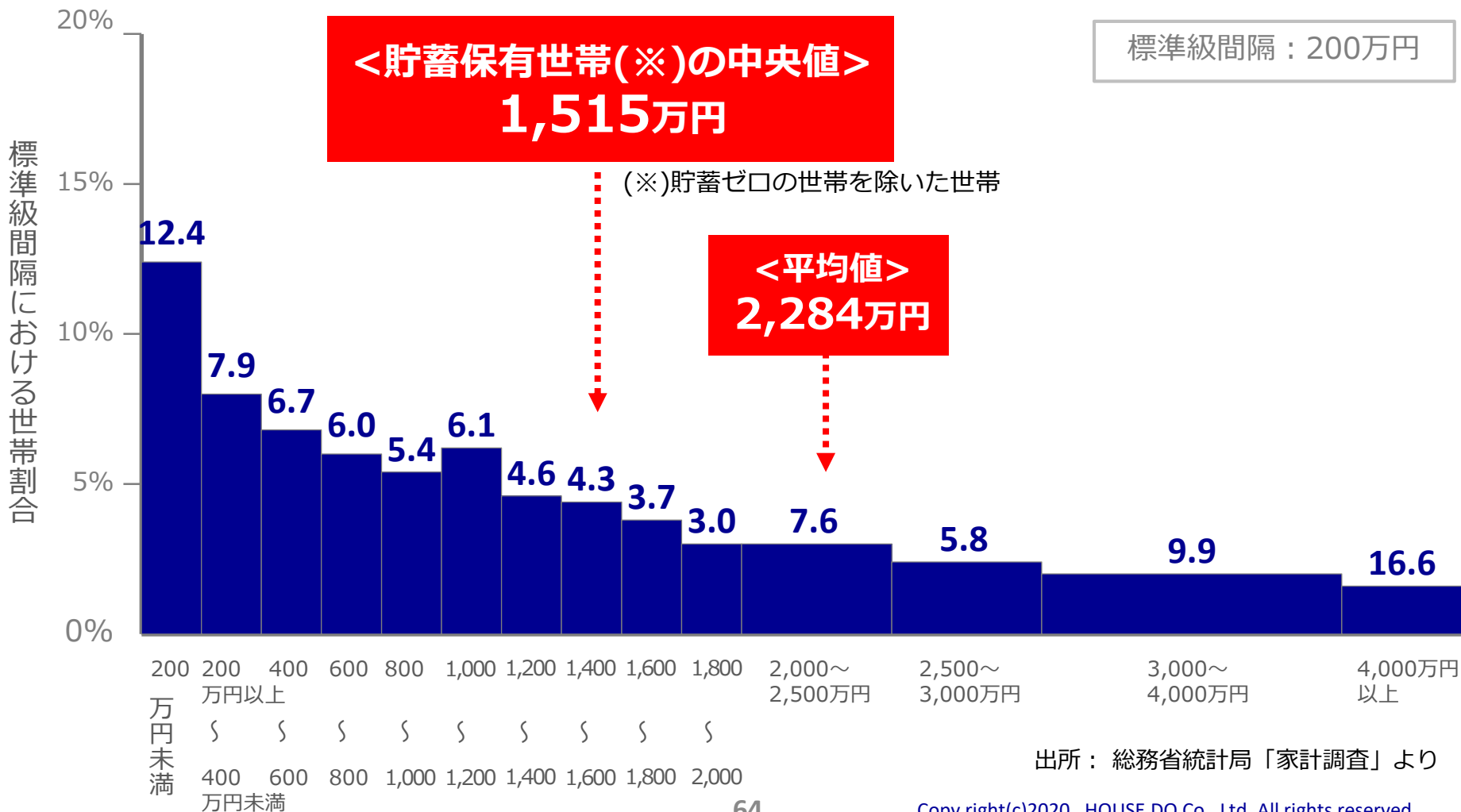
出所: 2015年総務省統計局データより作成

空家数・空家率は今後も増加傾向

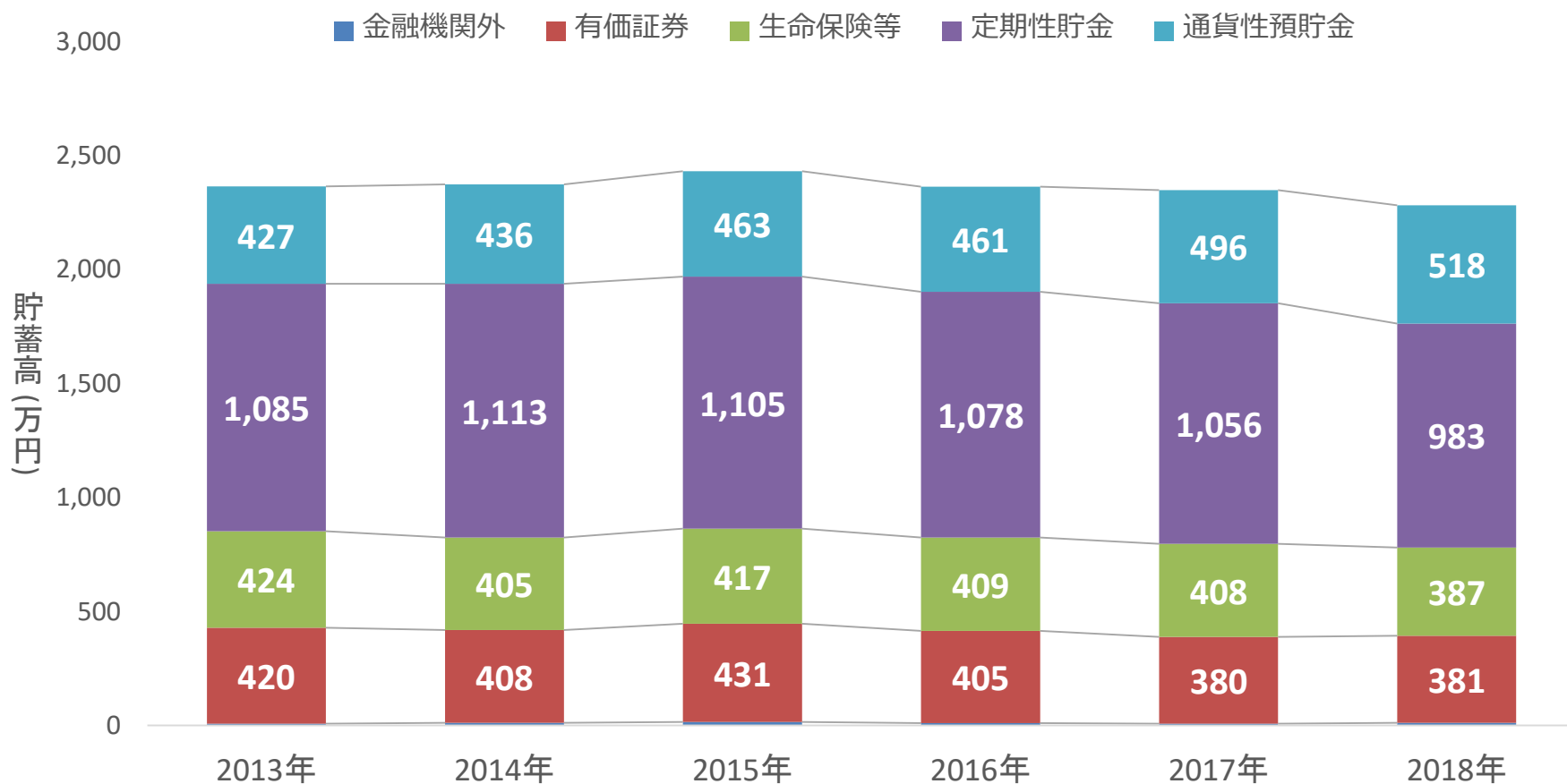


出所：総務省統計局「平成 30 年住宅・土地統計調査」より

高齢者の60%以上の貯蓄は2,000万円未満



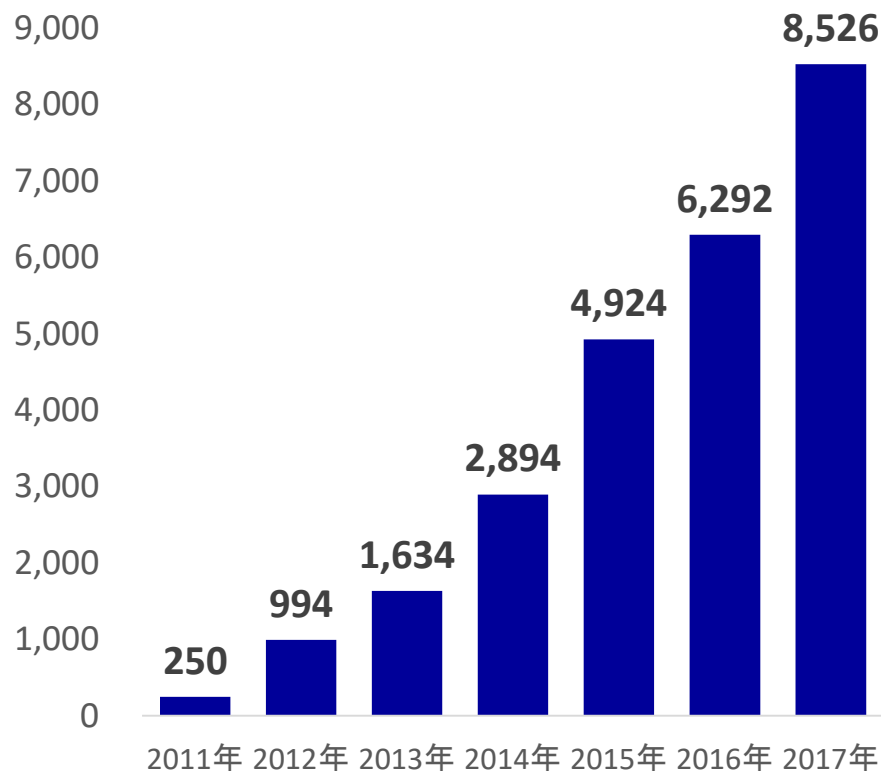
高齢者の貯蓄は近年減少傾向



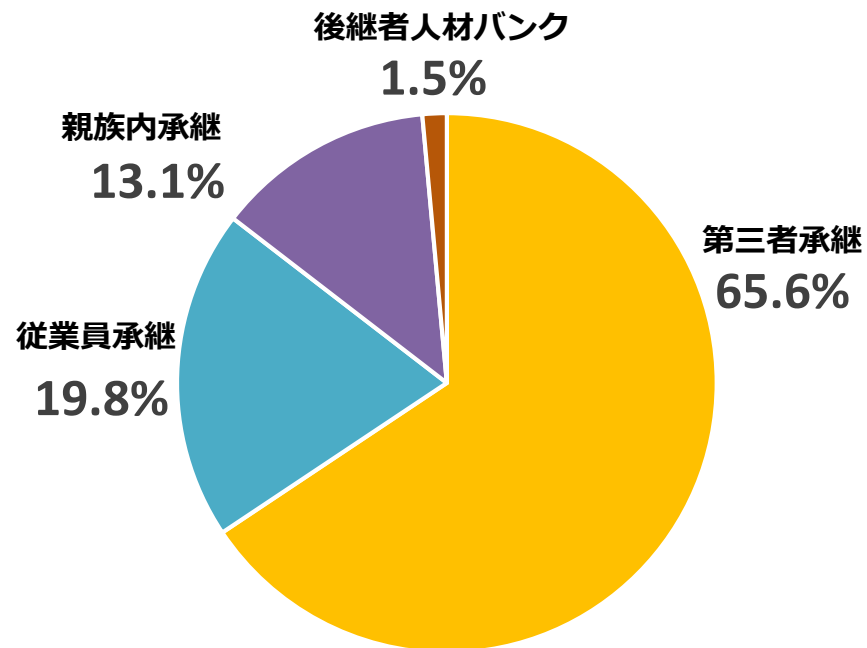
出所：総務省統計局「家計調査」より

M&Aを含む中小企業の事業承継に関する 相談件数は年々増加

相談社数 事業引継ぎセンターへの相談社数

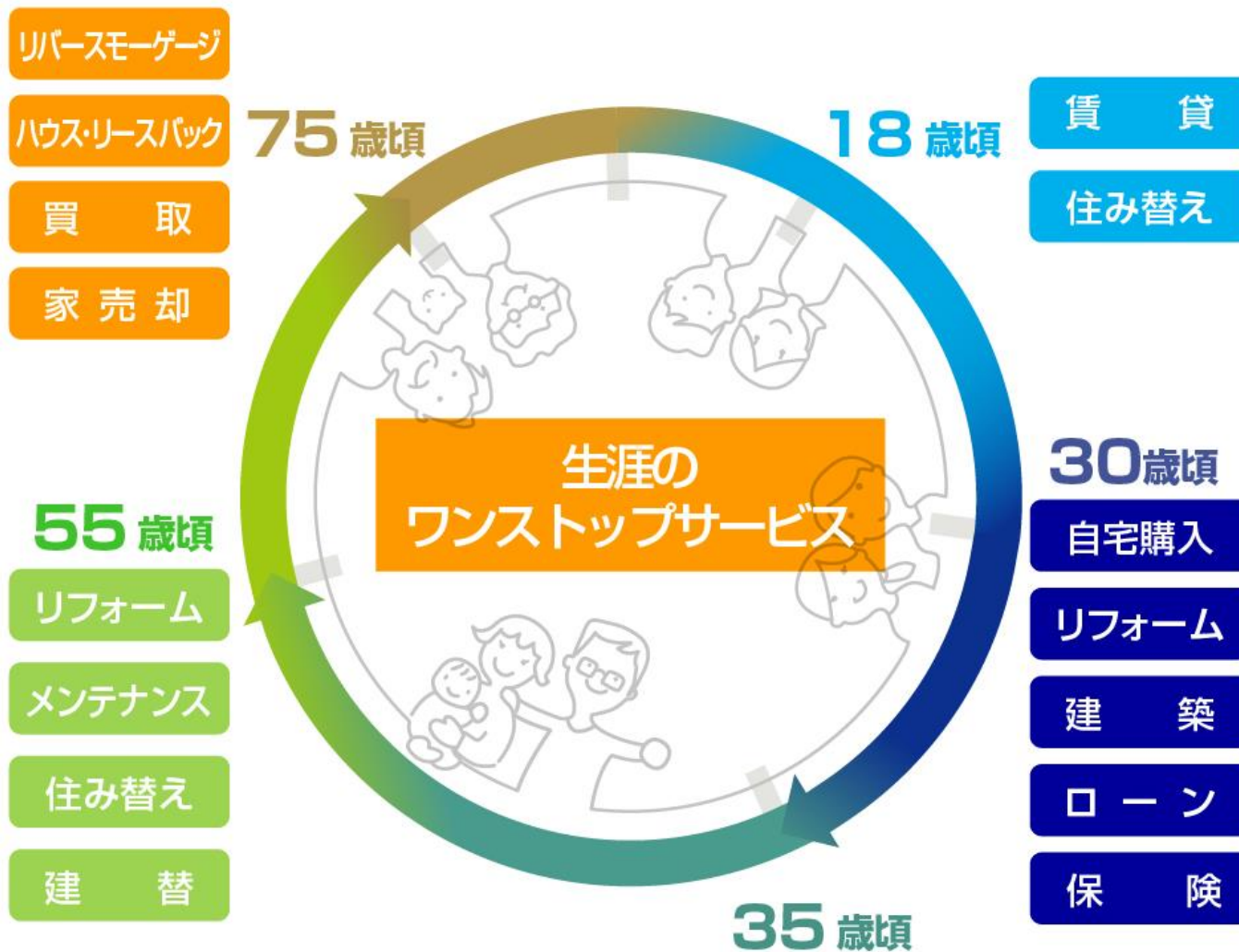


事業引継ぎ件数の内訳



出所：独立行政法人中小企業基盤整備機構

ワンストップサービス=顧客生涯価値の最大化



ハウストゥ！の強みを最大限に生かし、業界改革！

地域密着の

1/販売力 >

2/査定力 >

3/信用力 >

4/全国対応 >



不動産金融保証

リバースモーゲージ保証、
事業融資、アセットリースバック

賃貸

空家活用→タイムルーム、
マンスリー、外国人向け寮、家賃保証

高齢者

ハウス・リースバック

M & A

地元優良不動産会社

不動産信託構想

アジアの「不動産サービスメーカー」へ！

不動産の活用 = 不動産の流動化

高齡化・貸金業者激減・資金供給不足

資産を活かし ⇒ 資金を供給

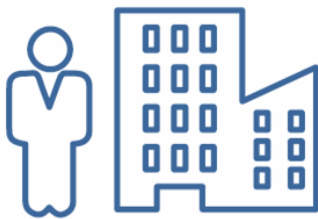
日本経済活性化

不動産を所有しているお客様



顧客
(高齢者・シニア)

資金ニーズ



顧客
(事業者)

資金ニーズ

不動産＋金融
(ハウストゥ＋フィナンシャルドゥ)

ハウス・リースバック

(売買＋賃貸)
売却して資金を手にして、
リース契約で住み続けられる

リバースモーゲージ

(査定・保証・販売)

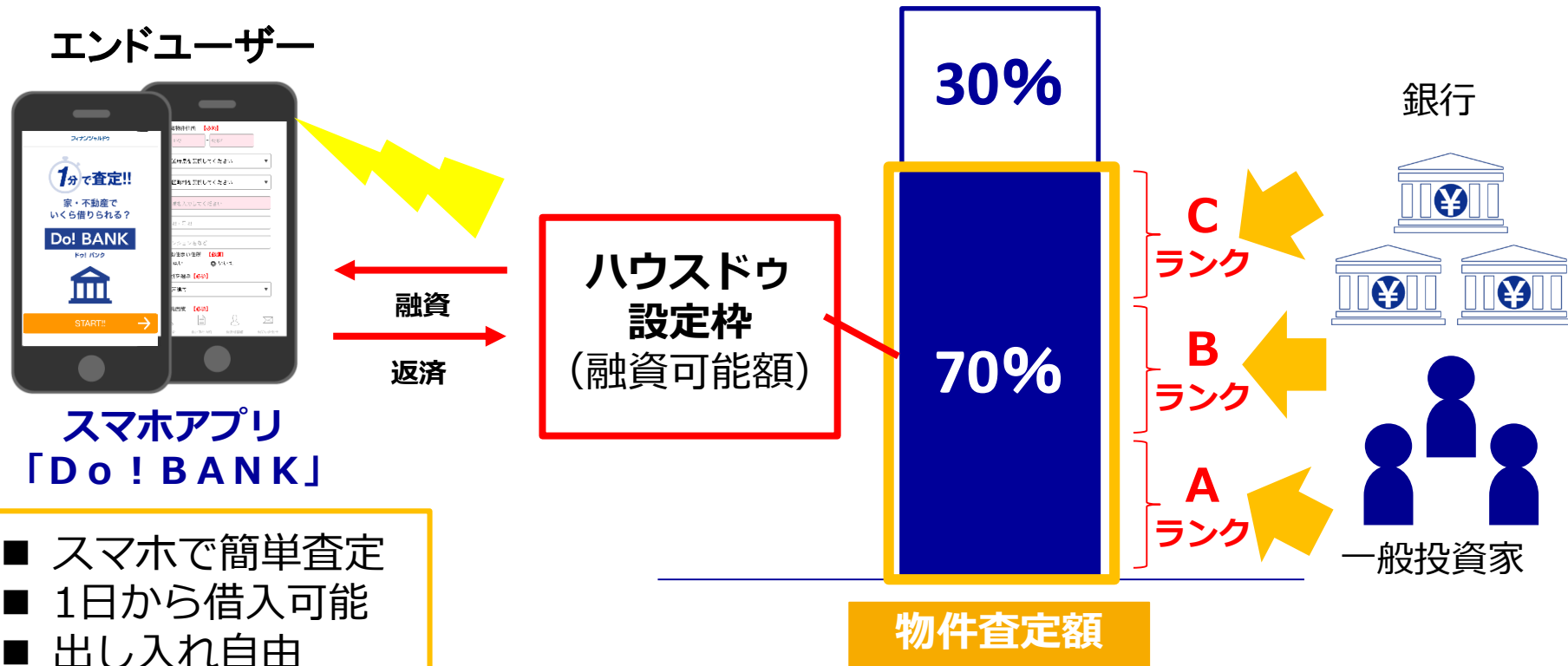
金融機関 (資金提供)
地域の金融機関
と提携を推進

不動産担保ローン
アセット・リースバック

債権処理

ハウズドゥ！保証テック構想

人工知能を利用した査定とフィンテックによる不動産担保融資



- スマホで簡単査定
- 1日から借入可能
- 出し入れ自由
- 返済方法選択可能

- ・ 利払い
- ・ 元金均等
- ・ 元利金等

- 物件査定額の70%程度を融資可能額として設定
- 担保物件の格付けランキング
- 銀行・一般投資家が担保物件に対して金利・融資額を入札形式で設定する



HOUSEDO

業界を変える！

～お客様のための業界へ～

国内1,000店
アジア50,000店へ！

業界を変える！

～お客様のための業界へ～



ハウストゥ！グループのIR情報は、当社ホームページでご覧頂けます。

ハウストゥ！グループ

検索 

—将来見通しに関する注意事項—

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社グループは、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

※前々期以前のセグメント別データにつきましては、セグメント区分見直し前のデータが含まれております。ご注意ください。